

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価報告書

(平成26年度対象)



完成した朝陽小学校校舎・屋内運動場

平成27年9月

YACHIMATA



八街市教育委員会

目 次

八街市民憲章、青少年健全育成都市宣言	1
やちまた教育の日、市の花「ヒマワリ」制定	2
総括 1. 点検評価の目的及び対象	3
2. 点検評価の期日	3
3. 点検評価の方法	3
4. 平成26年度事業の概要	4
5. まとめ	5
事務事業評価一覧表	7
教育委員会の事務事業評価シート	10
1. 教育委員会諸費	11
2. 教育委員会事務局諸費	13
3. 小学校管理諸費	15
4. 小学校施設維持管理費	17
5. 小学校施設整備事業費	19
6. 朝陽小学校改築事業費	21
7. 小学校施設改修事業費(平成26年3月補正予算)	23
8. 中学校管理諸費	25
9. 中学校施設維持管理費	27
10. 中学校施設整備事業費	29
11. 中学校施設改修事業費(平成26年3月補正予算)	31
12. 幼稚園諸費	33
13. 幼稚園施設維持管理費	35
14. 私立幼稚園就園奨励費補助事業費	37
15. 私立幼稚園運営費補助事業費	39
16. 幼稚園施設整備事業費	41
17. 教育指導諸費	43
18. 外国語指導助手事業費	45
19. 教育センター運営費	47
20. 教育支援センター管理運営費	49
21. 育て八街っ子推進事業費	51
22. 実践的防災教育総合支援事業費(平成26年9月補正予算)	53
23. 小学校教育振興費	57
24. 小学校教材備品等購入費	59
25. 小学校理科教育振興用備品購入費	61
26. 小学校児童援助奨励費	63
27. 中学校教育振興費	65
28. 中学校教材備品等購入費	67

29. 中学校理科教育振興用備品購入費	69
30. 中学校生徒援助奨励費	71
31. 学校保健諸費	73
32. 学校保健管理費	75
33. 社会教育総務費	79
34. 生涯学習振興事業費	81
35. 文化振興事業費	83
36. 文化財保護事業費	85
37. 青少年健全育成事業費	87
38. こども110番支援事業費	89
39. 社会教育施設管理運営費	91
40. 郷土資料館管理運営事業費	93
41. 市史編さん事業費	95
42. 保健体育総務費	97
43. 体育振興費	99
44. 市民体育祭運営費	101
45. 八街市ピーナツ駅伝大会運営費	103
46. 郡市民体育大会運営費	105
47. 学校開放推進費	107
48. 体育施設維持管理費	109
49. スポーツプラザ管理運営費	113
50. スポーツプラザ整備事業費(平成26年12月補正予算)	115
51. 中央公民館管理運営費	117
52. 中央公民館整備事業費	119
53. 図書館管理運営費(臨時雇用、施設維持管理)	121
54. 図書館管理運営費(資料収集、普及、利用促進)	123
55. 視聴覚教材センター管理運営費	125
56. 視聴覚教材整備費	127
57. 学校給食センター一般管理事業費	129
58. 学校給食センター調理場維持管理事業費	131
59. 学校給食センター調理場給食事業費	133

学校評価の部

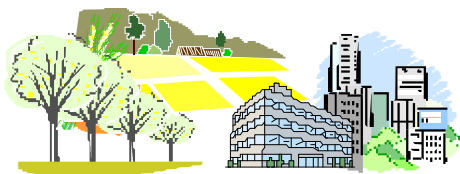
学校評価の考察方法、評価コメント	135
評価結果の考察 ①子どもの様子に関する項目	137
②学習指導に関する項目	138
③家庭・学校・地域が連携して子どもを 育てる環境に関する項目	139

八街市民憲章

わたくしたちの八街は、開拓の歴史と恵まれた自然環境の中で、先人の努力によって栄えてきたまちです。

わたくしたちは、「ヒューマンフィールドやちまた」を目指して、調和のとれたよりよいまちづくりのために、この憲章を定めます。

1. 郷土を愛し、文化のかおり高いまちにしましょう。
1. 自然を大切にし、潤いのある美しいまちにしましょう。
1. きまりを守り、明るい住みよいまちにしましょう。
1. おもいやりのある、心のかよった豊かなまちにしましょう。
1. スポーツに親しみ、健康で働くたくましいまちにしましょう。



〈平成4年9月28日制定〉
八 街 市

青少年健全育成都市宣言

ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまたを大きく発展させ、次代の八街を創る者は、青少年です。

青少年が、夢、希望を持ち、自由と責任を自覚しながら、たくましく生きていく力を蓄え、広く社会に役立つ人材に成長することは、市民すべての願いです。この願いを実現するため、青少年自らの努力を期待するとともに、家庭、学校、地域社会が一体となり、優しさと潤いのある環境の中で青少年を心身共に健やかに育てることを決意し、ここに八街市を『青少年健全育成都市』とすることを宣言する。



〈平成20年3月19日制定〉
八 街 市

11月12日は「やちまた教育の日」

八街市教育委員会では、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」の具現化に向け、明日の八街市を担う、夢をいだき心豊かでたくましく生きる子ども達を育てるため、様々な施策を展開しているところであります。

次代を担う人々が、八街で生まれ育ったことを誇りとし、健やかに成長していくためには、学校・家庭・地域の相互の連携を推進するとともに、市民一人ひとりが教育に対する理解と関心を深め、それぞれの場で役割を担い、やちまたのひとづくりに積極的に参加していただくことが不可欠であります。

八街市教育委員会では、〈学校改善〉〈継続指導〉〈学校・家庭・地域との連携〉の3つの柱を視点とした『幼小中高連携教育』を全国に先がけ平成9年から取り組み、その成果を平成16年に全国公開で発表した、11月12日を「やちまた教育の日」と定め、併せて11月を「やちまた教育の日月間」として決めました。



〈平成22年4月1日制定〉
八街市教育委員会



市の花『ヒマワリ』



市制施行20周年の節目にあたり、市の花を「ヒマワリ」に指定しました。

天に向かって一直線に伸び、鮮やかな大輪の花を咲かせるイメージから『【ひ】かり輝き、【ま】わりを照らす、【わ】たしもあなたも、【り】っぱに育てよ』と、次代を担う子どもたちへの思いを込め、「ヒマワリ」が市の花に決定しました。

〈平成25年2月1日制定〉
八 街 市

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項 に基づく教育委員会の点検・評価について（総括）

1. 点検評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、教育委員会は、毎年その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

そこで、教育委員会では平成26年度執行の教育委員会の権限に属する全ての事務事業について、決算状況を踏まえた上で点検評価を行いました。

2. 点検評価の期日

- | | |
|-------------------------|------------|
| ①担当課による一次評価 | 平成27年5月29日 |
| ②教育委員会による二次評価 | 平成27年7月16日 |
| ③教育に関して知見を有する者を活用した総合評価 | 平成27年8月20日 |

3. 点検評価の方法

1) 教育委員会事務局等の評価

平成26年度の点検及び評価の実施にあたっては、「八街市教育委員会事務事業評価実施要領」により作成された、教育委員会事務事業評価シートにより評価を実施しました。

評価の評定は、昨年度と同様に、A, B, C, Dの4段階で評価しました。担当課評価は一次評価として位置づけ、関係職員から事情を聴取することによって評価を実施しました。

二次評価については、昨年度と同様に教育委員5名による評価とし、シートの評価欄については、5名の総合評価を記載しました。

細目にわたる5項目の評価（必要性、有効性、妥当性、効率性、公平性及び総合）についても参考として添付しました。

さらにこの評価結果について、外部（教育に関して知見を有する方2名）の評価を受け、それぞれの事務事業の総合評価といたしました。

点検評価の結果については、別添事務事業評価結果一覧表のとおりです。

2) 幼稚園、小中学校の評価

平成26年度においても、教育委員会の所管する全ての幼稚園、小中学校の教育委員会訪問を行いました。（実住小学校のみ、降雪のため中止）その際、授業の状況などを参観するとともに、学校長等から学校運営、学校の課題、学校の現状などの説明を受け、質疑応答を行うことなど、学校の状況を把握することに努めました。

なお、学校が行った学校評価は、内部評価、外部評価を実施していますが、学校ごとに調査方法、質問事項、まとめ方等も異なっていることから、このうち保護者を対象としたアンケート調査の結果のうち、千葉県の「みんなで取り組む『教育立県千葉』プラン（千葉県教育振興基本計画）」に数値目標が掲げられている、①子どもの様子（規範意識や協調性）に関する項目、②学習指導に関する項目、③学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる項目の3項目に関する結果を抜粋し検証することとしました。

なお、評価項目については、A・B・C・Dの4段階評価を採用しているところがほとんどでした。また、結果は最終の実施のものを評価することとし、学校等に示し、運営にあたっての参考に資することいたします。

4. 平成26年度事業の概要

八街市教育委員会では、平成26年度においては、八街市総合計画2005における、八街市がめざす将来都市像である、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」実現に向け、Ⅰ『子どもの教育・健全育成の充実』、Ⅱ『自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進』、Ⅲ『市民文化の創造と継承』、Ⅳ『豊かな心を育む交流の推進』に努め、様々な事業を展開したところであります。

具体的な施策と致しましては、

Ⅰ 『子どもの教育・健全育成の充実』では、

《子どもたちが健全に成長し、人間性豊かな心を育むために、学校教育の充実を図るとともに、社会教育では、家庭教育支援の充実を図り、家庭・学校・地域が連携した青少年健全育成に取り組む。》

Ⅱ 『自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進』では、

《市民の多様化・複雑化・高度化するさまざまな学習課題に対応できる社会教育機会の充実に努める。また、学校施設の開放の充実を図ることにより、市民に広くスポーツ・レクリエーションの機会を提供できるように努める。》

Ⅲ 『市民文化の創造と継承』では、

《芸術文化活動の推進を図るとともに、文化財の保護、郷土資料館の充実、市史編さん事業の推進に努める。》

Ⅳ 『豊かな心を育む交流の推進』では、

《ピーナツ駅伝大会や市民体育祭などのスポーツ大会や市民文化祭、市民音楽祭などの文化芸術活動をとおして、市内外の人々とは交流する場の提供に努める。》

と定め、この方針に基づいた事業に取り組んでまいりました。

具体的な事業内容等については、平成26年度教育要覧及び平成26年度八街市歳入歳出決算に係る主要施策の成果の説明書をご覧ください。

5. まとめ

今回教育委員会が行った事務事業の評価結果は、事務事業評価結果一覧表のとおりであります。

教育委員会の平成26年度に執行した事務事業については、総じて厳しい財政状況の中で、工夫・努力し推進しており、全体を通して事務事業において概ね適正であったと評価をいただきました。

総合評価（外部評価）としては、平成22年度（平成21年度実施分）から2名の方をお願いしており、相違はありますがそれぞれの評価を記載しました。

二次評価（教育委員）の意見等

- ・年々厳しくなる財政状況の中、各所管課等とも適正な事業の遂行につとめられていることが伺えますが、「育て八街っ子推進事業」が平成25年度に大幅な予算削減後、横這い状態にあることが気になります。本事業は当市の教育をすすめるうえで特徴ある取り組みであり、大きな成果を上げてきた事業ですので、それに見合う予算の確保をしたいものです。
- ・厳しい財政の中で、施設設備の老朽化と市民ニーズの多様化に対応しつつ事業を行っていく並々ならぬ努力とご苦労が感じられます。こういった状況は、今後ますます加速度がつくことでしょうか。また、文部科学省による学校統廃合基準の見直しも行われることから、八街市内小学校も対象校がでてくることが考えられます。5～10年後の八街の姿を見通し、教育及び諸事業を根本から見直す思い切った改革案も必要ではないかと思えます。
- ・限られた予算の中で、各種事業・施設維持管理等に大変な苦労もあると思料されます。こんな中、最大限の努力をされていると思われませんが、更なる工夫・努力が必要なのかなと思料されます。
- ・厳しい財政の中で、今以上の事業成果を期待している市民に対応することは大変だと思えますが、様々な方面から意見を聞き、展開できるように考えていただきたいと思えます。
- ・限られた非常に厳しい予算の中、適切な事業が実施されていると考えます。しかし、今後も厳しい状況が続くものと思われることから、事業の改善は必要と考えます。各学校、各教育施設、団体が連携を取り、効果を保ちつつ、より充実した事業改善、展開が行われることが望まれます。教育の効果には時間がかかやます。計画的な予算配当が必要とも思えます。

三次評価（総合評価）の意見等

- ・かねてより懸案であった朝陽小学校がこの度漸く完成を見る事が出来た。当市は人口の減少、または優良企業が極めて少ない為、税収が少なく市政運営には厳しい状況が続いているが、朝陽小学校が一段落したので、暫くは小中学校への予算配分も多少は増えるのではないかと期待している。そんな中、実績を見ると、少ない予算の中、各分野とも何とか成果を上げるべく懸命の努力をしている様子が伺われる。

また10年位前から始まった小学校の見守隊の為、交通事故が減少し、子供達の挨拶が極めて良くなって来た。父兄と教員が一体となって取り組んでいる姿は実に良い。更に、ある中学校では数年前まで入学・卒業式とも惨憺たる有様であったが、先般、実に素晴らしく感動した。日を追って歴然と良い方向に向って歩み続けていく姿を何時までも見たい。

- ・ 厳しい予算の中で、事業の必要性からその有効性まで導くのは容易ではないと思います。予算化・実施にあたっては工夫や努力が為されていると思います。
- ・ 給食費就学援助費など公平性の問題があることは事実であると思いますが、子どもの権利を疎外しては本末転倒になってしまいますので、きちんとした対応が必要と思います。
- ・ 事業は毎年計画－実施－評価
事業の継続性（拡大・統合・縮小）、廃止、新規は大胆に。
 - ・ 市民文化祭---サークルの発表の場として固定（大ホールの建設等、チャンスと場の設定をする。）
 - ・ 市民体育祭---市民健康まつり、市民体力増進の日、内容を体力診断、スポーツテスト、健康相談等にする。※体操選手を招待する。
 - ・ 現在の高度情報化パワーシステムの中で、視聴覚教材センターの立ち位置。
 - ・ 子ども110番の継続方法がよくわからない。
 - ・ 郷土資料館の充実－子どもに八街の歴史を。

なお、この評価結果につきましては、ホームページ等を活用し、公表を行いますので、関係各位の忌憚無いご意見をいただき、今後の事務事業遂行に反映してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

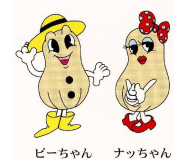
教育委員会では、毎年「教育施策」を策定し、その施策に基づき事業展開を図っているところですが、国の「教育振興基本計画」を受けて、昨年度から策定作業を進めてまいりました、平成26年度～平成35年度の10年間の中長期的な計画を、『八街市教育振興基本計画』としてとりまとめました。

平成27年度は、これに基づき、本年度版の「教育施策」を策定しました。

本年度は、現在、市総合計画第3次基本計画を策定することから、教育振興基本計画についても、これに合わせて改訂しながら、将来を見据えた計画の中で事業を実施してまいりたいと考えております。本市の教育ビジョンをホームページ等で広く公表し、教育委員会の事業について周知してまいります。

- ※参考資料：
- 1 教育委員会の事務事業評価シート
 - 2 学校評価結果

八街市のイメージキャラクター



事務事業評価一覧表

〔平成26年度事業の評価〕

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					総合評価 (外部評価)	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
1	9	1	1	庶務課	教育委員会諸費	A	A	A	A	A	A	A
2	9	1	2	庶務課	教育委員会事務局諸費	A	A	A	A	A	A	A
3	9	2	1	庶務課	小学校管理諸費	A	A	A	A	A	A	A
4	9	2	1	庶務課	小学校施設維持管理費	A	A	A	A	A	A	A
5	9	2	1	庶務課	小学校施設整備事業費	A	B	A	A	A	B	A
6	9	2	3	庶務課	朝陽小学校改築事業費	A	A	A	A	A	A	A
7	9	2	3	庶務課	小学校施設改修事業費 (平成26年3月補正予算・平成26年度へ繰越)	A	A	A	A	A	A	A
8	9	3	1	庶務課	中学校管理諸費	A	A	A	A	A	A	A
9	9	3	1	庶務課	中学校施設維持管理費	A	B	A	A	A	A	A
10	9	3	1	庶務課	中学校施設整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
11	9	3	3	庶務課	中学校施設改修事業費 (平成26年3月補正予算・平成26年度へ繰越)	A	A	A	A	A	A	A
12	9	4	1	庶務課	幼稚園諸費	A	A	A	A	A	A	A
13	9	4	1	庶務課	幼稚園施設維持管理費	A	B	A	A	A	A	A
14	9	4	1	庶務課	私立幼稚園就園奨励費補助事業費	A	A	A	A	A	A	A
15	9	4	1	庶務課	私立幼稚園運営費補助事業費	A	A	A	A	A	A	A
16	9	4	1	庶務課	幼稚園施設整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
17	9	1	3	学校教育課	教育指導諸費	A	B	B	A	B	B	B
18	9	1	3	学校教育課	外国語指導助手事業費	A	A	A	A	A	A	A
19	9	1	3	学校教育課	教育センター運営費	A	A	B	A	A	A	A
20	9	1	3	学校教育課	教育支援センター管理運営費	A	A	A	A	A	A	A

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					総合評価 (外部評価)	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
21	9	1	3	学校教育課	育て八街っ子推進事業費	A	B	B	A	B	B	B
22	9	1	3	学校教育課	実践的防災教育総合支援事業費 (平成25年9月補正予算)	A	A	A	B	A	A	A
23	9	2	2	学校教育課	小学校教育振興費	A	A	A	A	A	A	A
24	9	2	2	学校教育課	小学校教材備品等購入費	A	B	A	A	A	A	A
25	9	2	2	学校教育課	小学校理科教育振興用備品購入費	A	A	B	A	A	A	A
26	9	2	2	学校教育課	小学校児童援助奨励費	A	B	B	B	B	B	B
27	9	3	2	学校教育課	中学校教育振興費	A	A	A	A	A	A	A
28	9	3	2	学校教育課	中学校教材備品等購入費	A	A	B	A	A	A	A
29	9	3	2	学校教育課	中学校理科教育振興用備品購入費	A	A	B	A	A	A	A
30	9	3	2	学校教育課	中学校生徒援助奨励費	A	B	B	B	B	B	B
31	9	6	2	学校教育課	学校保健諸費	A	A	A	B	A	A	A
32	9	6	2	学校教育課	学校保健管理費	A	A	A	A	A	A	A
33	9	5	1	社会教育課	社会教育総務費	A	A	A	A	A	A	A
34	9	5	1	社会教育課	生涯学習振興事業費	A	B	A	A	A	A	B
35	9	5	1	社会教育課	文化振興事業費	A	B	A	B	B	B	B
36	9	5	1	社会教育課	文化財保護事業費	A	B	A	A	A	A	A
37	9	5	1	社会教育課	青少年健全育成事業費	A	B	A	A	A	A	A
38	9	5	1	社会教育課	こども110番支援事業費	A	A	A	A	A	A	A
39	9	5	1	社会教育課	社会教育施設管理運営費	B	C	B	B	C	C	B
40	9	5	5	郷土資料館	郷土資料館管理運営事業費	A	B	A	A	A	A	A
41	9	5	6	郷土資料館	市史編さん事業費	A	A	A	A	A	A	A

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					総合評価 (外部評価)	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
42	9	6	1	スポーツ振興課	保健体育総務費	A	A	A	A	A	A	A
43	9	6	1	スポーツ振興課	体育振興費	A	A	A	A	A	A	A
44	9	6	1	スポーツ振興課	市民体育祭運営費	A	B	B	B	B	B	B
45	9	6	1	スポーツ振興課	八街市ピーナッツ駅伝大会運営費	A	A	A	A	A	B	A
46	9	6	1	スポーツ振興課	郡市民体育大会運営費	A	A	A	A	A	A	A
47	9	6	1	スポーツ振興課	学校開放推進費	A	A	A	A	A	A	A
48	9	6	3	スポーツ振興課	体育施設維持管理費	A	A	A	A	A	A	A
49	9	6	3	スポーツプラザ	スポーツプラザ管理運営費	A	B	A	A	A	A	A
50	9	6	4	スポーツプラザ	スポーツプラザ整備事業費 (平成25年12月補正予算)	A	B	A	A	A	A	A
51	9	6	4	中央公民館	中央公民館管理運営費	A	A	A	A	A	A	A
52	9	5	2	中央公民館	中央公民館整備事業費	A	A	B	B	B	B	B
53	9	5	2	図書館	図書館管理運営費 (臨時職員の雇用、施設等の維持管理など)	A	B	A	B	A	A	A
54	9	5	3	図書館	図書館管理運営費 (図書館の資料収集、読書の普及、利用促進など)	A	A	A	A	A	A	A
55	9	5	3	視聴覚教材センター	視聴覚教材センター管理運営費	B	B	B	B	B	B	B
56	9	5	4	視聴覚教材センター	視聴覚教材整備費	B	B	B	B	B	B	B
57	9	5	4	学校給食センター	学校給食センター一般管理事業費	A	A	A	B	A	A	A
58	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター調理場維持管理事業費	A	A	B	B	B	B	B
59	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター調理場給食事業費	A	A	A	A	A	A	A

教育委員評価の判定について

教育委員評価判定内規

各項目の判定にあたって、各委員の評価の取りまとめ方について

	i 委員	ii 委員	iii 委員	iv 委員	v 委員	評価	
例①	A	A	A	A	A	評価	A
例②	A	A	A	A	B	評価	A
例③	A	A	A	B	B	評価	B
例④	A	A	A	B	C	評価	B
例⑤	A	A	A	A	C	評価	A
例⑥	A	A	A	C	C	評価	B
例⑦	A	A	B	B	C	評価	B
例⑧	A	A	B	C	C	評価	B
例⑨	A	B	B	C	C	評価	C
例⑩	B	B	B	C	C	評価	C

下位が2以上あれば下位評価とする

下位評価が1の場合は上位評価とする

下位が2以上あれば下位評価とする

この他の評価パターンが生じた場合は上記の基準に照らし判断するものとします。

教育委員会の評価基準

Check 事務事業の評価

- 必要性** 市民からのニーズ、手段、及び市が関与することの妥当性について検証します。
- * 市民ニーズ
 - a・・・増大若しくは極めて高い。
 - b・・・高い
 - c・・・やや低い
 - d・・・低い
 - * 妥当性
 - a・・・法定受託事務や、市が直接関与するよう法律や法令で定められた事業など。
 - b・・・公共性や収益性の観点から市が関与すべき事業
 - c・・・役割分担可能であるが、市関与が望ましい事業。
 - d・・・市で関与することは妥当性が少ない。(民営化または縮小・廃止を検討すべき)
- 有効性** 期待された成果に対する実施成果を検証します。
- a・・・期待された成果以上の高い成果が得られた。
 - b・・・概ね期待通りの成果が得られた。
 - c・・・成果はやや低い
 - d・・・成果は低い
- 効率性** 事業効率の向上、コスト低減の可能性などについて検証します。
- a・・・向上の余地なし(低減の余地は全くない)
 - b・・・向上の余地はあまりない(低減の余地はあまりない)
 - c・・・向上の余地あり(低減の余地あり)
 - d・・・向上の余地は大きい(低減の余地は大きい)
- 公平性** 事業効果の配分や受益者負担の公平性について検証します。
- a・・・検討の余地なし
 - b・・・検討の余地はあまりない
 - c・・・検討の余地あり
 - d・・・検討の余地は大きい
- 総合評価** 事務事業の総括及び実施上の課題について検証します。
- 期待された成果に対する実施成果を検証します。
- a・・・適切に実施されており、検討の余地はない。
 - b・・・概ね適切に実施されており、検討の余地はあまりない。
 - c・・・検討の余地あり
 - d・・・検討の余地は大きい

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	教育委員会諸費							部局等	教育委員会	
								課	庶務課	
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		実施の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	具体的施策	子供の教育・健全育成の充実								
	実施計画							開始	2010	終了
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方	現状値				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市教育委員会会議規則		
	直接の対象者(〜に対して)	市民					最終的な受益者	市民		
事業目的(〜という状態にするために)	教育行政について、広く社会の常識や市民のニーズを反映させるため、大所高所から審議を行い、基本的方針や具体的な施策の実施内容について合議制により決定する。									
具体的な事業内容(〜を行う)	教育委員会定例会及び臨時会の開催 学校等教育機関の訪問 効果的な施策の実施のため事務事業の点検評価を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	1	教育委員会定例会・臨時会・協議会開催数	回	16	17	15	15		
	事業の効果	1	教育委員会議案審議件数	件	52	49	54	54		
		2	学校訪問	校	16	16	16	16		
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		市の教育行政を審議決定する機関であり、経費の節減に努めるとともに効率的な執行を図った。 教育行政にかかる基本方針や重要施策を審議・決定し、市教育行政の的確な実施・運営に努めた。							
④事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円		232	217	195	225		
	決算額		千円		189	211	189			
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円		189	211	189			
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		旅費	1							
		需用費	52							
		負担金	136							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市の教育行政に対する市民のニーズは高くなっており、また、その教育行政の重要施策を審議・決定する教育委員会の会議は、市民の生活に直接関係があるため、必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	法に基づき市教育行政の重要事項を審議、決定する機関であり不可欠である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	年間15回の定例会、臨時会を開催し、同時に学校訪問を実施し、現状の把握に努めた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	月1回の定例会において、集中的に審議を行うことで、効率的な執行を行っている。また、審議の内容により臨時会を開催することもあるが、経費等には影響しない。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	教育委員会で決定された教育施策は、市の教育行政全体へ反映されるため、公平に問題はない。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	市のホームページで会議録(非公開部分を除く)を公開し、透明性に努めるとともに市民のニーズに応じていく。		A A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	教育を取り巻く環境が激変する中で、教育委員会は実態を把握しより実効的な活動をするため、17年度から実施している学校訪問を引き続き実施し、会議録は非公開部分を除き、引き続きホームページで公開していく。また、「やちまた教育の日」制定にあたり、PRに努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	教育委員会は、教育行政の重要事項を審議、決定する機関であり、継続して実施していかなければならない。さらに現状を把握し、教育委員会の一層の活性化を図ることが必要である。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	教育委員会事務局諸費						部局等	教育委員会		
							課	庶務課		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		実施の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街				職・氏名	主査補・富谷和恵		
(八街市総合計画)	具体的施策	子供の教育・健全育成の充実								
		実施計画				開始	2010	終了	2014	
実施方法	■ 直接実施 □ 業務委託 □ 補助金交付 □ 負担金 □ その他 ()	「めぞう！ね(値)」	指標	指標の内容	めぞう値(目標設定)の考え方	現状値				
		実施根拠								
直接の対象者(〜に対して)	教育委員会事務局					最終的な受益者	市民			
事業目的(〜という状態にするために)	教育委員会が実施する施策等を円滑に行うため。									
具体的な事業内容(〜を行う)	教育委員会内臨時職員共済費、教育長交際費、庶務課需用費、等									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③実績・成果	事業の実績	区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
		1 教育長交際費	件	15	24	27				
	事業の効果	1 教育長交際費	千円	90	161	180				
		事業効果に関する外部要因								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		教育施策を実現するため、教育委員会事務局内の事務が円滑に進められた。								
④事業コスト	区分	単位		24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額	千円		2,621	2,584	2,439	2,658			
	決算額	特定・その他財源()	千円		2,403	2,263	2,236			
		一般財源	千円		2,403	2,263	2,236			
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		臨時職員共済費	1,251	需用費	423					
		報償費	32	負担金及び補助金	253					
		教育長交際費	180	その他	97					

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心・注目が高まっている中、各種要望等に対応しなければならない。		A
		市の関与は妥当ですか	a	教育施策を実現するため、教育委員会事務局内の事務の円滑化を図ることが重要であるため。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	事務の円滑化が図られることにより、教育施策の早期実現が可能となる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度ごとに事務事業の評価・点検を実施することにより、常に見直しを行っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	施策が実現されることにより、効果が広く市民に還元される。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	多種・多様なニーズに対し、現状の限られた予算・人員でいかに迅速かつ的確に対応していくか。		A A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	平成26年度に策定した教育振興基本計画をベースとした教育施策に基づき、教育行政を行う。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		教育振興基本計画をベースとした教育施策に基づき、教育委員会事務局内の事務を円滑に進められるようにする。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	小学校管理諸費							部局等	教育委員会	
								課	庶務課	
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		実施の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	具体的施策	子供の教育・健全育成の充実								
	実施計画							開始	2010	終了
	「めぞう！ね(値)」	指標	指標の内容			めぞう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠			
直接の対象者(〜に対して)	全市立小学生						最終的な受益者	市民		
事業目的(〜という状態にするために)	学校運営に必要な需用費等経費									
具体的な事業内容(〜を行う)	臨時職員賃金・消耗品費・光熱水費・通信運搬費・等									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績									
	事業の効果									
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		施設・設備等の維持管理を含め、学校生活を円滑に運営できた。								
④事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	84,994	83,083	90,048	86,976			
	決算額			千円	81,982	81,800	87,044			
		特定・その他財源()	千円							
	一般財源		千円	81,982	81,800	87,044				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		臨時職員賃金・共済費 10,786 その他 399 需用費 71,087 通信運搬費等 4,772								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、学校生活をする上で必要な施設・設備等の経費である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校生活に必要な不可欠な臨時職員・需用費・公共料金等を確保しなければならないため。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、学校生活を安定させることができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	学校現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	義務教育を受けるもの全てが対象である。	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	学校生活を運営する上で、必要な経費のみを計上したうえで、更なる経費の節減に努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校生活を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を伺ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	小学校施設維持管理事業						所管課等	部局等	教育委員会		
								課	庶務課		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025			
	施策の大綱	五の街 めざましす！心の豊かさを感じる街						職・氏名	副主幹 川名弘晃		
(八街市総合計画)	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実						電話番号	443-1442	内線	2355
	実施計画	学校施設の整備			開始	2013		終了	2015		
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値			
	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()	実施根拠			公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針						
直接の対象者(～に対して)	小学校			最終的な受益者		小学生・教職員					
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにするために。										
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施。 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、消防設備保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、特殊建築物定期調査業務委託、校務用コンピュータ保守管理業務委託、消火器・AED・複写機の賃借を行う。 ・学校管理用消耗品及び備品の購入。										
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	12	19	22	22			
		2	学校施設の修繕契約数	件	71	70	63	63			
		3	各種検査、調査、樹木剪定等の契約数	件	23	14	8	8			
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	8	11	24	24			
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	17,445	18,603	18,375	21,953			
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	6,150	5,572	5,394	5,400			
		3	各種検査、調査、樹木剪定等の実施	千円	2,303	1,018	890	864			
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	4,430	3,496	3,248	3,803			
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に務めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。										
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	32,329	28,837	28,837	32,020				
	決算額			千円	30,328	28,690	27,907				
		特定・その他財源()	千円								
	一般財源	千円		30,328	28,690	27,907					
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費(消耗品、修繕)	6,973	使用料及び賃借料	1,139						
		役務費(手数料)	890	備品購入費	1,669						
		委託料	17,236	計	27,907						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の経年劣化により、学校からの要望は多く、学校施設の適正な維持管理のため必要性がある。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が実施する事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩にあわせ、ランニングコストの費用を削減できる新製品の導入などを検討し、経費の節減を図る。(例:照明器具をLEDなどの省エネ型に替えて交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) 消火器(全校)の賃借については、平成27年度から8年間の債務負担行為、またAED(全校)及び複写機(実住小)の賃借について、平成26年から5年間の債務負担行為とし、点検の効率化及び経費の削減を図る。 平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き平成27年度も測定を行う。 				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		<ul style="list-style-type: none"> 児童の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。 				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	小学校施設整備事業						部局等	教育委員会		
							課	庶務課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実							
	(八街市総合計画)	実施計画	学校施設の整備		開始	2013	終了	2015		
実施方法	「めぞう！ね(値)」	指標	指標の内容				めぞう値(目標設定)の考え方		現状値	
	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付			実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他 ()								
	直接の対象者(～に対して)	小学校				最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにするために。									
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の改修、設備の交換等を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	6	11	8	5		
		2	業務委託契約数	件						
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	28,592	47,616	5,972	10,535		
		2	業務委託の実施	千円						
事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めた。 ・限りある予算の中で、8件の施設の維持管理工事を発注した。 ・主な工事として、二州小学校沖分校の玄関庇防水工事、実住小学校の電話主装置改修工事、交進小学校プール排水改修工事等を実施した。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円		28,622	48,200	6,000	10,535		
	決算額		千円		28,592	47,616	5,972			
		特定・その他財源()	千円	H24:学校施設環境改善交付金 H25:地域の元気臨時交付金	5,939	41,621				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		工事請負費 5,972								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっていることから、学校施設の適正な維持管理をする必要がある。	
市の関与は妥当ですか		a	市立学校であり、市が行う事業である。			
有効性	期待された効果は得られていますか		b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		B
効率性	事業の効率性を高められますか		a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に務めており、改善の余地はあまり無い。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題		a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		B A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 予算額5,684千円の中で、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施していく。 県給与システムの更新に伴う電話のひかり通信化を行い、通信費の節減を図る。 				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				<ul style="list-style-type: none"> 施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	朝陽小学校改築事業						部局等	教育委員会		
							課	庶務課		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実								
	(八街市総合計画)実施計画	学校施設の整備	開始	2013	終了	2015				
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方			現状値			
	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()	実施根拠			義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律					
	直接の対象者(～に対して)	小学校	最終的な受益者	小学生・教職員						
事業目的(～という状態にするために)	・老朽化した鉄骨校舎の改築事業や老朽化した狭隘の屋内運動場の改築を行い、児童の学校生活環境の向上やプレハブ校舎の解消を図るために。									
具体的な事業内容(～を行う)	・校舎、及び屋内運動場の改築工事を実施する。 ・校舎改築後、プレハブ校舎の解体を行う。(7棟) ・付帯設備の改修(キュービクル設備、受水槽の更新等)を行う。									
②市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	・プレハブ教室数が多く、校舎も何棟にも分かれており、全校集会等に移動時間を要し、非常に不便であるとの声があがっている。 ・プレハブ教室の解消要望も多い。								
Do 事務事業の実施										
③実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	1	建築確認等の申請数	件	2		2			
		2	業務委託契約数	件	4	4	5	2		
		3	工事請負契約数	件		4	6	1		
		4								
	事業の効果	1	工事に伴う消耗品及び備品	千円			24,992	78		
		2	建築確認等の申請の実施	千円	542		240			
		3	業務委託の実施	千円	25,280	3,699	33,995	1,602		
		4	改築工事の実施	千円		92,260	1,070,916	38,198		
	事業効果に関する外部要因	・耐震性のない校舎等について、平成27年度までに構造体の耐震補強を完了するよう文部科学省より強く要望されている。 ・鉄骨校舎、プレハブ校舎及び屋内運動場の老朽化(危険建物)のため、校舎及び屋内運動場を改築し、プレハブ校舎を解消する。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・平成19年度に用地測量、平成20年度に基本計画を実施し、建設に向けて準備を進めました。平成23年度から平成24年度にかけて調査・設計を行い、平成25年度には、基礎工事を実施しました。平成26年度に校舎及び屋内運動場を建設しました。27年度にグラウンド整備を実施し、目的を達成する予定です。									
④事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	30,205	102,123	1,145,828	39,878			
	決算額		千円	25,280	95,959	1,130,143				
		特定・その他財源()	千円	15,900	84,075	318,851				
		一般財源	千円	9,380	11,884	811,292				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費: 271	使用料及び賃借料: 122						
			役員費: 240	工事請負費: 1,070,916						
			委託料: 33,873	備品購入費: 24,721		計: 1,130,143				

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	耐震診断の結果、昭和43年度建築の鉄骨校舎は耐震性が低く、改築すべきであるとの判断であり、併せてプレハブ校舎も経年劣化があり、環境もあまりよくない。屋内運動場も狭く、劣化があるので、校舎と屋内運動場を合わせて改築する要望が高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市が実施する事業である。 学校の中に地域コミュニティーの場としての施設整備を取り入れてまいりたい。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	危険校舎及び危険屋内運動場の解消、学習環境の向上を図れるものと思われる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	事業の実施に向けて、工事に着手できるよう計画的にかつ繊細な調査・設計を進めていく。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公立学校の施設整備であり、公平である。	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	児童数の将来推計、地域活動の場としての学校を考慮して事業を進めていく。平成25年度に国庫負担金・交付金補助事業として実施。平成26年度は、太陽光発電設備工事を環境省の補助事業を活用して整備、国の制度を有効に活用して、市の負担軽減に配慮した。		A	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	・H26年度で校舎及び屋内運動場の改築工事が完了したので、H27年度でプレハブ校舎跡地を含めてグラウンド整備を行い、改築事業の完了となります。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了				
		・平成27年度で、グラウンド整備工事を実施して本改築事業を完了する予定である。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	小学校施設改修事業						部局等	教育委員会		
							課	庶務課		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実							
		実施計画	学校施設の整備				開始	2013	終了	2015
実施方法	「めぞう！ね(値)」	指標	指標の内容				めぞそう値(目標設定)の考え方			
	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者(～に対して)	小学校				最終的な受益者	小学生・教職員			
	事業目的(～という状態にするために)	・老朽化した学校施設・設備について、耐震化を含め計画的な改修を行い、児童の安全確保および学校生活環境の向上を図るために。								
具体的な事業内容(～を行う)	・補強が必要な川上小学校、交進小学校、八街東小学校の校舎の耐震補強工事及び工事の監理業務を行う。 ・実住小学校便所改修工事を実施し、学校生活環境の向上を図る。 ・朝陽小学校に防災備蓄倉庫と災害用トイレを備えた、屋外倉庫棟建築工事を行う。 ・避難所である小学校屋内運動場における天井等の非構造部材耐震化の調査設計業務委託を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	・実住小学校以外の八街東小学校・川上小学校・朝陽小学校等の便所も老朽化しており、異臭を放ち衛生上好ましくないので、改修してほしいとの意見がある。							
	Do 事務事業の実施									
③実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	1	工事請負契約数	件		1	7	6		
		2	業務委託契約数	件		4	10	5		
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円		32,685	283,100	316,501		
		2	設計及び監理業務の実施	千円		19,678	21,082	26,223		
		3	工事に伴う消耗品	千円				576		
事業効果に関する外部要因	・耐震性のない校舎等について、平成27年度までに構造体の耐震補強を完了するよう文部科学省より強く要望されている。 ・避難所である屋内運動場の天井等の非構造部材について、平成27年度までに耐震化を完了するよう文部科学省より強く要望されている。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・耐震補強工事について、国庫補助制度(学校施設環境改善交付金)を活用して、3校の補強工事を実施して、耐震性を確保した。 ・実住小学校便所改修工事を実施し、学校生活環境の向上を図った。 ・朝陽小学校に防災備蓄倉庫と災害用トイレを備えた、屋外倉庫棟建築工事を実施した。 ・交進小学校、二州小学校、八街東小学校の3校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震化の調査設計業務の委託を行った。									
④事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円			285,403	342,724	172,724		
	決算額	特定・その他財源()	千円	学校施設環境改善交付金		32,685	304,182			
		一般財源	千円			10,553	189,637			
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費(消耗品費) 0 委託料 21,082 工事請負費 283,100 計 304,182							

Check 事務事業の評価						
区分	一次評価	判定理由		二次評価		
		必要性	市民からのニーズは高いですか	a	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化に伴い、耐震性のない校舎があり児童の安全を確保するため、早急に耐震改修を実施する必要がある。 老朽化した便所は、悪臭等があり、生活環境が悪く改善する必要がある。 	
	市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修工事を実施することにより、児童の安全が確保できる。 防災備蓄倉庫、災害用トイレの設置により、避難所としての機能が向上する。 		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に務めており、改善の余地はあまり無い。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	耐震性のない校舎の改修、避難所の機能向上、児童の生活環境の確保するもので公平である。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化により、耐震性のない校舎等や非構造部材は早急に耐震改修し、児童の安全を確保しなければならない。 地域の避難所としての機能や児童の良好な生活環境は、確保しなければならない。 		A	A
Action 今後の事務事業の方向						
27年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 小学校3校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震改修工事及び工事監理業務を行う。 笹引小学校、川上小学校の屋内運動場の非構造部材の耐震化を図る為の調査設計業務を委託する。 					
	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了					
事務事業の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 屋内運動場の非構造部材の耐震改修は、児童の安全確保と避難所という観点から早急を実施し、平成26年度に調査した学校については、平成27年度中に完了させることが重要である。 					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名	中学校管理諸費							所管課等	部局等	教育委員会			
									課	庶務課			
								職・氏名	主査補・富谷和恵				
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025			
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							電話番号	443-1442	内線	2353
		具体的施策	子供の教育・健全育成の充実							E-mail	shomu@city.yatimata.lg.jp		
	(八街市総合計画)	実施計画						開始	2010	終了	2014		
		「めざそう!ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方	現状値				
②市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠					
	直接の対象者(〜に対して)	全市立中学生					最終的な受益者	市民					
	事業目的(〜という状態にするために)	学校運営に必要な需用費等経費											
	具体的な事業内容(〜を行う)	臨時職員賃金・消耗品費・光熱水費・通信運搬費・等											
Do 事務事業の実施													
③実績・成果		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)						
	事業の実績												
	事業の効果												
	事業効果に関する外部要因												
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	施設・設備等の維持管理を含め、学校生活を円滑に運営できた。											
④事業コスト		区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)						
		(最終)予算額	千円	60,526	61,209	62,803	60,110						
	決算額		千円	57,466	60,024	59,354							
		特定・その他財源()	千円										
		一般財源	千円	57,466	60,024	59,354							
	26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	臨時職員共済費・賃金	5,954	其他	247								
		需用費	50,339										
		通信運搬費等	2,814										

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、学校生活をする上で必要な施設・設備等の経費である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校生活に必要な不可欠な臨時職員・需用費・公共料金等を確保しなければならないため。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、学校生活を安定させることができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	学校現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	義務教育を受けるもの全てが対象である。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	学校生活を運営する上で、必要な経費のみを計上したうえで、更なる経費の節減に努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校生活を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	中学校施設維持管理事業							部局等	教育委員会	
								課	庶務課	
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実―――学校教育の充実							
	(八街市総合計画)	実施計画	学校施設の整備				開始	2013	終了	2015
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方	現状値				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針		
	直接の対象者(〜に対して)	中学校					最終的な受益者	中学生・教職員		
	事業目的(〜という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにするために。								
	具体的な事業内容(〜を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施。 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、消防設備保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、特殊建築物定期調査業務委託、校務用コンピュータ保守管理業務委託、消火器・AED・複写機の賃借を行う。 ・学校管理用消耗品及び備品の購入。								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	9	17	17	17		
		2	学校施設の修繕契約数	件	62	38	45	45		
		3	各種検査、調査、樹木剪定等の契約数	件	14	6	5	5		
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	6	11	12	12		
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	8,639	9,136	9,387	9,194		
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	5,619	4,500	4,691	4,500		
		3	各種検査、調査、樹木剪定等の実施	千円	986	310	338	934		
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	1,685	1,553	1,711	1,542		
		事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。							
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に務めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。								
④事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	17,025	16,170	16,170	17,502			
	決算額		千円	16,929	15,499	16,127				
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	16,929	15,499	16,127				
	26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	需用費(消耗品、修繕) 5,639		使用料及び賃借料 648						
		役務費(手数料) 338		備品購入費 763						
		委託料 8,738		計 16,127						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校施設の経年劣化などにより学校からの要望は多くなっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩にあわせ、ランニングコストの費用を削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。(例:照明器具をLEDなどの省エネ型に替えて交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) 消火器(全校)については、平成27年度から8年間、AED(全校)は平成25年度から5年間、複写機(中央中)については平成26年から5年間の賃借の債務負担行為とし、点検の効率化及び経費の削減を図る。 平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き平成27年度も測定を行う。 				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 </p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。 				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	中学校施設整備事業						部局等	教育委員会		
							課	庶務課		
所管課等							職・氏名	副主幹 川名弘晃		
							電話番号	443-1442	内線	2355
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025	
	(八街市総合計画)	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実							
		実施計画	学校施設の整備	開始	2013	終了	2015			
	「めぞう！ね(値)」	指標	指標の内容			めぞう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
直接の対象者(～に対して)	中学校					最終的な受益者	中学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにするために。									
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の改修、設備の交換等を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	5	2	4	3		
		2	業務委託契約数	件						
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	3,989	3,833	4,993	3,862		
		2	業務委託の実施							
事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めた。 ・限りある予算の中で、4件の施設の維持管理工事を発注した。 ・主な工事として、八街中学校屋上改修工事、八街中学校非常放送用増幅器交換工事等を実施した。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円		7,382	4,000	5,007	3,862		
	決算額		千円		7,382	3,833	4,993			
		特定・その他財源()	千円							
	一般財源	千円		7,382	3,833	4,993				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		工事請負費: 4,993								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっていることから、学校施設の適正な維持管理をする必要がある。	
市の関与は妥当ですか		a	市立学校であり、市が行う事業である。			
有効性	期待された効果は得られていますか		b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		B
効率性	事業の効率性を高められますか		a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に務めており、改善の余地はあまりない。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題		a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・予算額3,862千円の中で、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施していく。 ・県給与システムの更新に伴う電話のひかり通信化を行い、通信費の節減を図る。 				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。 				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	中学校施設改修事業						部局等		教育委員会		
							課		庶務課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実								
		実施計画	学校施設の整備	開始	2013	終了	2015				
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
	■ 直接実施	■ 業務委託	□ 補助金交付		実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針				
	□ 負担金	□ その他	()								
直接の対象者(～に対して)	中学校				最終的な受益者	中学生・教職員					
事業目的(～という状態にするために)	・老朽化した学校施設・設備について、耐震化を含め計画的な改修を行い、生徒の安全確保および学校生活環境の向上を図るために。										
具体的な事業内容(～を行う)	・補強が必要な八街中学校の校舎について、耐震補強工事及び工事の監理業務を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	事業の実績	1	工事請負契約数	件		1	1	0			
		2	業務委託契約数	件		3	1	1			
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円		29,400	38,317	0			
		2	設計業務の実施	千円		9,061	4,104	3,161			
	事業効果に関する外部要因	・耐震性のない校舎等について、平成27年度までに耐震補強を完了するよう文部科学省より強く要望されている。 ・避難所である屋内運動場の天井等の非構造部材について、平成27年度までに耐震化を完了するよう文部科学省より強く要望されている。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・耐震補強工事について、国庫補助制度(学校施設環境改善交付金)を活用して、1校の補強工事を実施して、耐震性を確保した。										
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		50,592	50,592	3,161				
	決算額	特定・その他財源()		千円	学校施設環境改善交付金	21,989	21,019				
		一般財源		千円		16,529	21,402				
	26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費(消耗品費): 0 委託料: 4,104 工事請負費: 38,317					計	42,421		

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、耐震性のない校舎等があり生徒の安全を確保するため、早急に耐震改修を実施する必要がある。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修工事を実施することにより、生徒の安全が確保できる。 浄化槽改修工事を実施することにより、排水基準を確保できる。 		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に務めており、改善の余地はあまり無い。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	耐震性のない校舎を改修するもので公平である。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化により、耐震性のない校舎等や非構造部材は早急に耐震改修し、生徒の安全を確保しなければならない。 		A A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	・八街南中学校の屋内運動場の非構造部材の耐震化を図る為の調査設計業務を委託する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				<ul style="list-style-type: none"> 屋内運動場の非構造部材の耐震改修は、生徒の安全確保と避難所という観点から早急を実施し、平成26年度に調査した学校については、平成27年度中に完了させることが重要である。

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	幼稚園諸費							部局等	教育委員会		
								課	庶務課		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
		実施計画					開始	2010	終了	2014	
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	事業の実績	区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		施設・設備等の維持管理を含め、幼稚園生活を円滑に運営できた。									
④事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		14,290	13,422	14,753	16,498			
	決算額			千円	14,486	12,419	14,489				
		特定・その他財源()		千円							
	一般財源		千円	14,486	12,419	14,489					
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		臨時職員共済費・賃金		7,319	その他		404				
		需用費		5,960							
		通信運搬費		806							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、幼稚園生活をする上で必要な施設・設備等の経費である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	幼稚園生活に必要な不可欠な臨時職員・需用費・公共料金等を確保しなければならないため。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、幼稚園生活を安定させることができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	幼稚園現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	幼稚園教育を受けるもの全てが対象である。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	幼稚園生活を運営する上で、必要な経費のみを計上したうえで、更なる経費の節減に努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		幼稚園生活を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要														
事務事業名	幼稚園施設維持管理事業						部局等		教育委員会					
							課		庶務課					
所管課等							職・氏名		副主幹 川名弘晃					
							電話番号		443-1442	内線		2355		
E-mail							shomu@city.yachimata.lg.jp							
	当該事業が該当する個別計画等													
基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						開始年度	2005		終了年度	2025			
	施策の大綱 五の街 めざします！心の豊かさを感じる街													
具体的施策 五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実														
(八街市総合計画)	実施計画						学校施設の整備		開始	2013		終了	2015	
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方			現状値					
①事務事業の概要	実施方法						<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()		実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者(～に対して)						幼稚園		最終的な受益者		幼稚園児・教職員			
事業目的(～という状態にするために)														
・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにするために。														
具体的な事業内容(～を行う)														
・施設の修繕、樹木の伐採、浄化槽法定検査等の実施する。 ・園舎警備、浄化槽維持管理、受水槽維持管理、消防設備保守点検、樹木害虫駆除業務、遊具点検業務の委託業務及び送迎用駐車場・AED・複写機の賃借を行う。 ・幼稚園管理用消耗品及び備品の購入。														
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等						該当項目							
Do 事務事業の実施														
③実績・成果	区分						単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	1	幼稚園施設の保守管理業務委託契約数				件	5	12	12	12			
2		幼稚園施設の修繕契約数				件	10	13	11	11				
3		各種検査、調査、樹木剪定等の契約数				件	5	3	2	2				
4		幼稚園管理用備品(消耗品を含む)購入契約数				件	5	5	6	6				
事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施				千円	1,662	3,454	3,364	3,802				
	2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保				千円	744	600	593	1,000				
	3	各種検査、調査、樹木剪定等の実施				千円	1,138	89	78	102				
	4	管理用備品(消耗品を含む)の購入				千円	962	736	587	255				
事業効果に関する外部要因						・施設設備の経年劣化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)						・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に務めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。								
④事業コスト	区分						単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額						千円	4,844	5,434	5,159	5,159			
	決算額						千円	4,506	4,879	4,622				
	特定・その他財源()						千円							
	一般財源						千円	4,506	4,879	4,622				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)						需用費(消耗品、修繕): 630		使用料及び賃借料: 1,465						
						役務費(手数料): 78		備品購入費: 550						
						委託料: 1,899		計 4,622						

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	園施設の経年劣化などにより、幼稚園からの要望は多くなっている。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図るようにしている。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、幼稚園間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。		A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A	A	
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	27年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩にあわせ、ランニングコストの費用を削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。(例:照明器具をLEDなどの省エネ型に替えて交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) 全園について、消火器については平成27年度から8年間、AEDと複写機は平成25年度から5年間の賃借の債務負担行為とし、点検の効率化及び経費の削減を図る。 平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き平成27年度も測定を行う。 					
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 </p> <ul style="list-style-type: none"> 園児の安心安全な園生活を確保するため、施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいります。 					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要																
事務事業名		私立幼稚園就園奨励費補助事業費								部局等		教育委員会				
										課		庶務課				
										職・氏名		主査補・富谷和恵				
①事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等	基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	電話番号	443-1442	内線	2353
		(八街市総合計画)	施策の大綱		五の街 めざします!心の豊かさを感じる街								E-mail	shomu@city.yatimata.lg.jp		
			具体的施策		子供の教育・健全育成の充実											
			実施計画										開始	2010	終了	2014
			「めざそう!ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値					
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()								実施根拠	八街市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱					
直接の対象者(〜に対して)		私立幼稚園の設置者								最終的な受益者	私立幼稚園に通園する園児の保護者					
事業目的(〜という状態にするために)		私立幼稚園に通園する園児の保護者の所得状況に応じて、保護者の経済的負担を軽減するとともに、公立・私立間の保護者負担格差の是正を図る。														
具体的な事業内容(〜を行う)		市は国から幼稚園就園奨励費補助金の交付を受け実施。私立幼稚園の設置者は、通園する園児の保護者の所得状況に応じて市に対し補助金申請を行い、補助金の交付を受け保護者に還元する。														
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目												
Do 事務事業の実施																
③実績・成果		区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)								
		事業の実績	私立幼稚園数		園	16	18	19								
			補助対象者		人	373	381	353								
		事業の効果														
		事業効果に関する外部要因														
事業効果の総合分析(達成できたこと)																
④事業コスト		区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)								
		(最終)予算額		千円		42,993	48,221	48,517	48,641							
		決算額			千円		40,313	47,298	47,479							
			特定・その他財源()		千円		9,756	11,263	13,159							
		一般財源		千円		30,557	36,035	34,320								
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		補助金 47,479														

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	公立幼稚園との格差是正及び保護者の経済的負担の軽減のため、ニーズは高い。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	国と市で行っている事業であり、妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	国の補助基準と同額を補助しており、概ね期待通りの効果は得ている。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	国の補助基準で補助しているため、効率性向上の余地はない。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	保護者の所得状況等に応じて補助金額が決定されている。		A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	幼児教育に対するニーズが高まる中で、保護者負担の格差是正を図り、幼児教育振興に資するため必要である。		A	A	
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	27年度における取組のPRと方向性	国の補助制度の変更にあわせ、補助金額を決定する。該当する幼稚園に対し、対象となる保護者が制度を活用できるよう周知徹底を図る。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 子育て支援の一環として、国の補助基準に従い、継続して実施していく。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	私立幼稚園運営費補助事業							部局等	教育委員会		
								課	庶務課		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
		実施の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
(八街市総合計画)		具体的施策	子供の教育・健全育成の充実								
		実施計画					開始	2010	終了	2014	
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方			現状値			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	実施根拠			八街市私立幼稚園運営費補助金交付要綱			
		<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他	()							
直接の対象者(〜に対して)	私立幼稚園の設置者					最終的な受益者	私立幼稚園に通園する園児の保護者				
事業目的(〜という状態にするために)	私立幼稚園の設置者に対し補助金を交付することにより、私立幼稚園の健全な運営と通園する園児の保護者の費用負担の軽減を図り、幼児教育の振興に資する。										
具体的な事業内容(〜を行う)	私立幼稚園の設置者からの申請に基づき、学級数及び園児数に応じて補助金を交付する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	事業の実績	区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
		幼稚園数	園	4	4	4	3				
		学級数	学級	22	21	19					
	事業の効果	園児数	人	398	383	336					
	事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	私立幼稚園の健全な運営に資することができた。										
④事業コスト	区分	単位		24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額	千円		2,840	2,718	2,808	2,333				
	決算額	千円		2,840	2,718	2,436					
		特定・その他財源()	千円								
	一般財源	千円		2,840	2,718	2,436					
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	補助金 2,436										

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	公立幼稚園との格差是正及び保護者の経済的負担の軽減のため、ニーズが高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市内の私立幼稚園への補助事業であり、市の関与が必要。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	保護者の負担軽減につながり、概ね期待通りの効果を得ている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	幼稚園設置者への直接補助であり、低減の余地はない。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	各私立幼稚園の学級数・園児数により決定しており適切である。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	公立幼稚園との格差是正及び保護者の経済的負担の軽減のため、必要である。		A	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	市内の私立幼稚園3園に照会し、幼稚園の設置者からの申請に基づき補助を行う。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				今後園児数の減少が見込まれ、私立幼稚園の保護者の負担増が予想される。このため、継続的に運営費補助金を支出することにより、私立幼稚園の円滑な運営を図り、ひいては保護者の負担軽減につなげたい。

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	幼稚園施設整備事業						部局等	教育委員会		
							課	庶務課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実								
	(八街市総合計画) 実施計画	学校施設の整備	開始	2013	終了	2015				
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付			実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他	()							
直接の対象者(～に対して)	幼稚園					最終的な受益者	幼稚園児・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の改修工事を行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにするために。									
具体的な事業内容(～を行う)	・幼稚園施設の改修、設備の交換等を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	2	3	6	0		
		2	業務委託契約数	件			2			
	事業の効果	施設設備の改修工事の実施		千円	1,166	1,200	38,378	0		
		業務委託の実施		千円			7,020			
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の経年劣化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備に務めた。 ・限りある予算の中で、6件の施設の維持管理工事を発注した。 ・主な工事として、全3園で国庫補助制度(学校施設環境改善交付金)を活用した空調設備工事及び川上幼稚園テラス改修工事等を実施した。空調設備工事については、全保育室と遊戯室に設置し、保育環境の向上に努めた。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円		1,200	1,200	49,024	0		
	決算額			千円	1,166	1,200	45,398			
		特定・その他財源()	千円							
	一般財源	千円		1,166	1,200	45,398				
25年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料: 7,020 工事請負費: 38,378 計 45,398								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の経年に伴い、園からの改修要望等は多くなっていることから、幼稚園施設の適正な維持管理をする必要がある。		A
市の関与は妥当ですか		a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		B	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に務めており、改善の余地はあまり無い。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、幼稚園間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	・予算なし。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・市の厳しい財政状況により、平成27年度の予算計上が出来なかったが、園児の良好な園生活の実現のため、引き続き要望していく。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	教育指導諸費							部局等	教育委員会	
								課	学校教育課	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	具体的施策	学校教育の充実								
	実施計画		開始	2010	終了	2014				
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方	現状値		
	■ 直接実施 □ 業務委託 □ 補助金交付 □ 負担金 □ その他 ()	実施根拠				法令等 八街市教育支援センターの設置及び管理に関する条例第4条				
直接の対象者(～に対して)	幼稚園・小・中学校教職員						最終的な受益者	市民		
事業目的(～という状態にするために)	充実した学校生活や学習支援を実現し、より開かれた園や学校づくりを推進していくために、カウンセラーを雇用し、相談体制の充実を図るとともに、学校評議員制度を活かした意見聴取や情報交換等を各園、各学校で展開する。									
具体的な事業内容(～を行う)	カウンセラーによるカウンセリングを行う。 カウンセラーの小学校への巡回相談を行う。 学校評議員会議の開催									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	カウンセラーによるカウンセリング		件数	543	627	676	680		
		カウンセラーの小学校巡回相談		回		16	12	12		
		学校評議員会議の開催		回	3	3	3	3		
	事業の効果									
事業効果に関する外部要因	H25年度からカウンセラーの小学校巡回相談実施									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	カウンセリング件数の増加により、問題を抱えている児童・生徒・保護者の状態が好転している。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円		34,089	38,169	54,703	57,402		
	決算額			千円		33,087	37,363	53,628		
		特定・その他財源()		千円		3,004	6,410	1,945		
		一般財源		千円		30,083	30,953	51,683		
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	45	報償費	292	役務費	88			
		共済費	10,984	旅費	150	負担金及び交付金	1,607			
		賃金	38,461	需用費	1,976	公課費	25			

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価		
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各学校からのカウンセリングの問い合わせや電話による教育相談の状況や、学校評議員による学校運営への提言が開かれた学校という安心感を生み、市民からのニーズは高い。	A	
		市の関与は妥当ですか	a	カウンセリングについては学校では相談しづらいケースもあり、学校評議員による学校運営への提言は客観性があり、不可欠である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	カウンセリングについては件数の増加とともに、不適応を起こしている児童生徒の変容が見られるケースが多い。また、学校評議員による学校運営への提言によって望みし変容を生み出している。	B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	カウンセリングに関しては、即効性があるわけではないが、学校や関係諸機関と支援の方向性を連携することにより、効率を高めるよう努めている。学校評議員による活動は、限られた回数の中で目標が達成できるよう努めている。	B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内の教育相談体制や教育条件、環境の整備の向上に結び付く事業であり、公平性に問題はない。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	学校運営を向上させていくために、幼児児童生徒の個々のニーズに対応するため、さらに効率性に努めていく。	B	B	

Action 今後の事務事業の方向

⑥	26年度における取組のPRと方向性	幼児・児童・生徒個々のニーズにさらに応えられるようにするため、平成25年度より小学校の巡回相談を行い、より活用を広げるとともに、PRに努める。また、学校評議委員の提言についても学校運営に更に生かしていけるように努めていく。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 カウンセリングのニーズは、年々高くなっている。各家庭の環境も様々であり、心理的な側面とともに福祉の側面での関わりも必要である。教育委員会では、相談体制の構築に更に努めていく。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	外国語指導助手事業費							部局等	教育委員会	
								課	学校教育課	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	学校教育の充実							
	(八街市総合計画)	実施計画			開始	2010	終了	2014		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方			現状値		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校教育法施行規則 学習指導要領		
	直接の対象者(～に対して)	市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒が対象					最終的な受益者	市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒		
	事業目的(～という状態にするために)	八街市の幼児・園児・児童・生徒の国際理解教育の進展、小学校低学年における異文化理解の進展、小学校高学年における小学校外国語活動の推進、中学校における英語の基礎力の確立を図る。								
	具体的な事業内容(～を行う)	市内各小中学校へのALTの派遣 市内各幼稚園、保育園の行事への派遣								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
			各学校から授業担当時数の確保の要望 ALTの直接雇用							
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	小・中学校へのALTの派遣		人	4	4	4	5		
		各幼稚園への派遣		回	3	3	3	3		
		各保育園への派遣		回	3	3	3	3		
	事業の効果	英語に関する興味関心の高まり								
		異文化に対する理解の深まり								
		英語の能力の向上								
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		ALTの授業を実施することにより、子どもたちの英語の質的な向上やコミュニケーション能力が高まった。								
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	16,590	16,805	16,200	16,200			
	決算額			千円	16,590	16,805	16,200			
		特定・その他財源()		千円						
	一般財源		千円	16,590	16,805	16,200				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			委託料	16,200						

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価		
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	2011年4月より小学校5・6年生で英語の授業が必修化され、ALTを活用した授業の必要性を求める意識は高まっている。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	外国語活動及び英語の授業は学習指導要領にも記載され必修となっている。ALTについて他市町では直接雇用をしているところもあり、市の関与は妥当であるとする。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	英語での会話力やコミュニケーション能力が高まっている。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	民間会社への業務委託を行っている。契約金額も他市町に比べて低く設定している。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	各学校へ均等に派遣できるように配置計画をしているので、受益が偏ることはない。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	小学校における英語の授業の必修化が実施となってから3年目を迎える。外国語活動、特に英語学習への関心は新聞等でも度々特集が組まれるほど高まっている。今後も本事業を継続するとともに拡充していく必要がある。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

27年度における取組のPRと方向性	英語における児童生徒へのきめ細かい指導、教職員への研修支援などがさらに充実される。今後も本事業を継続するとともに拡充していく必要がある。今年度で契約が終了するので、来年度からの契約方法について検討する。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	外国語活動、特に英語学習への関心は新聞等でも度々特集が組まれるほど高まっている。、英語における児童生徒へのきめ細かい指導、会話力・コミュニケーション能力のを向上させていくためには、今後も本事業を継続するとともに拡充していく必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	教育センター運営費						部局等	教育委員会			
							課	学校教育課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策									
	(八街市総合計画)	実施計画						開始	2010	終了	2014
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方			現状値
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠			
		直接の対象者(～に対して)	幼稚園・小・中学校教職員					最終的な受益者			
		事業目的(～という状態にするために)	教職員の指導力及び資質を向上させ、たくましく生きる力を持った園児・児童生徒の育成に努める。								
具体的な事業内容(～を行う)		学級運営、学年主任、教務主任、学校人権教育、教育相談、特別支援教育、小学校英語の領域について研修会を実施する。また、中学校群研修会、教務主任優良校研修視察、八街市教育講演会を実施する。研究指定を中学校区で行う。									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	事業の実績	研修等実施数	回	20	20	24	23				
		講演会開催数	回	1	1	1	1				
		研究指定	校	1	2校区	3校区	3校区				
	事業の効果	研修等実施数	回	20	20	24	23				
		講演会開催数	回	1	1	1	1				
		研究指定	数	1	2校区	3校区	3校区				
事業効果に関する外部要因	他市町村も夏季休業中を中心に研修会を実施している。学校群研修会、中学校区への研究指定は、本市独自のものです。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	研修会及び講演会の実施により、教職員の指導方法に工夫や改善が見られるようになり、児童生徒の授業アンケートから分かりやすい授業や興味関心を高められる学習活動に対して、肯定的な回答が得られるようになってきた。										
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	567	567	470	436				
	決算額			千円	340	352	399	0			
		特定・その他財源()		千円							
	一般財源		千円	340	352	399					
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	120								
		需用費	279								

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各園、各校におけるアンケートや保護者等による評価から一層の学校改善に対する関心や要望は高い。		A
	市の関与は妥当ですか	a	教職員の資質向上と授業力アップについて、個人の研修だけでは目標を達成しにくいところがあり、全市を上げての取り組みは必要かつ妥当である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	a	千葉県標準学力テストの結果に僅かではあるが向上が見られるとともに、魅力的な学校づくりに教職員の研修が活かされている。		A
効率性	事業の効率性を高められますか	b	教職員の異動や状況により、研修内容や取り組みの方法等に柔軟な対応が求められるため、効率性の追求にあたっては慎重を要する。		B
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	研修会には、学校の実情で1校から最低1名参加し、その効果は市内の園児・児童生徒に反映されると考えられ、公平性に問題はない。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	教育公務員特例法に「教員はその職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない、その機会を与えなければならない」とある。教員の資質を高めるためには、継続して研修を実施する必要がある。		A A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	26年度における取組のPRと方向性	・本年度は特別支援教育と道徳の研究会を増やす等、研修の見直しを図った。 ・教職員の資質の向上と専門性を高めるための研修会への参加及び、各学校において教育活動の向上のための教育講演会を開催する。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 各学校における教育活動及び研修による教職員の指導力向上のため最低限の予算措置、継続しての研修が必要である。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	教育支援センター管理運営費						部局等	教育委員会		
							課	学校教育課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざましです！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	具体的施策									
	実施計画							開始	2010	終了
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方	現状値		
	■ 直接実施 □ 業務委託 □ 補助金交付 □ 負担金 □ その他 ()	実施根拠				法令等 八街市教育支援センターの設置及び管理に関する条例第2条				
直接の対象者(〜に対して)	全児童生徒、全保護者						最終的な受益者	市民		
事業目的(〜という状態にするために)	学校に登校できなくなった児童生徒の居場所を作り、心を安定させ学校に復帰させるために適応指導教室を設置し、学習支援や教育相談活動を行う。									
具体的な事業内容(〜を行う)	不登校児童生徒の居場所を確保するとともに、学習支援やスキル学習、教育相談活動を行うとともに、学校と連携し児童生徒の成長を支援する。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	26年度(目標)			
	事業の実績	適応指導教室利用者	人	16	14	7	8			
	事業の効果	学校復帰児童生徒数	人	7	4	2	3			
事業効果に関する外部要因	安全確保のため、26年度より通学時は、保護者による送迎をお願いしている。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	通所している児童・生徒については、少しずつ通所できる時間が長くなったり、表情が柔らかくなっている。学校復帰に向けての取り組みの成果は、年度内に学校復帰した人数の他、卒業生2名とも通信制高等学校への進路決定ができたことにも現れている。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	5,976	5,885	5,964	6,566			
	決算額		千円	5,820	5,828	5,900				
		特定・その他財源()	千円	4,299	5,827	5,848				
		一般財源	千円	1,521	1	52				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	5,460 役務費			198				
		報償費	39 工事請負費			52				
		需用費等	151							

Check 事務事業の評価

⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	本市の長欠不登校児童生徒の支援については喫緊の課題であり、そのニーズは年々増加している。		A
市の関与は妥当ですか		a	不登校児童生徒へ支援や未然防止は、将来の引きこもりを防止することとなり、市の財政に寄与するもので、必要である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	学校復帰も平成24年度は増加しており、卒業後の進路も全員が決まる等、効果が得られている。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	すでに臨時職員で対応しており、コストの削減に努めている。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	不登校になる原因は多様化している。教育支援センターの維持は、全児童生徒・保護者の権利を確保することとなる。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	八街市における本事業は、必要性和有効性を持っている。コストの削減に努めながらも充実した支援事業に努めていく。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	27年度における取組のPRと方向性	本年度は新設した電話相談員も活用し、家庭訪問担当学校教育相談員及びカウンセラー、各小中学校との連携を密にして、不登校児童生徒の好転に努めていく。							
	事務事業の今後の方向性	学習及び進路指導について、必要と思われる教材・資料及び、施設設備について、コスト削減に努めながらも予算措置を要望し、充実した支援を行っていく。							
		取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	育て八街っ子推進事業費							部局等	教育委員会		
								課	学校教育課		
							職・氏名	主幹・森澤 仁志			
							電話番号	443-1446	内線	2361	
							E-mail	gakyo@city.yachimata.chiba.jp			
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	(八街市総合計画)	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策									
		実施計画				開始	2010	終了	2014		
	めざそう！ね(値)指標	指標の内容		めざそう値(目標設定)の考え方			現状値				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠				
直接の対象者(〜に対して)	教職員及び児童生徒						最終的な受益者				
事業目的(〜という状態にするために)	園児・児童生徒の生活の安定と健全育成をめざして、八街市における連携教育の在り方について研究し実践する。										
具体的な事業内容(〜を行う)	1 学力向上のために授業改善を推進する。 2 継続的な連携指導項目の徹底指導を推進する。 3 学校と家庭、地域社会との連携を強化する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	事業の実績	中学校区の連携教育プランの策定と実施		回	3	3	3	3			
		連携教育アンケートの考察		回	1	1	1	1			
		学力向上プロジェクト推進会議の開催		回	2	2	2	2			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		継続的な取り組みにより、学力向上の兆しが見られ、不登校児童生徒の出現率の減少傾向が確認できた。また、家庭学習の習慣化など保護者の意識の変容もみられている。									
④事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	18,482	388	375	425				
	決算額			千円	15,606	378	317	0			
		特定・その他財源()		千円		0	0				
	一般財源		千円		378	317					
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	155								
		使用料及び賃借料	162								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	「やちまた教育の日」の反響等から考えて、幼稚園や小・中学校で安心して生活し学ぶことができることへの市民のニーズは高まっている。		A
		市の関与は妥当ですか	b	市内保育園、公立幼稚園及び小・中学校の効果的な連携を推進するために、全市をあげての取り組みは必要かつ妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	推進会議の開催や各実践から目標とする連携教育の在り方に近づきつつあるが、各園や学校間の活動を調整したり、広く市民のニーズに対応した実践を展開するために、一層の検討も求められる。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	達成目標に向けて事業内容の見直しや方策の改善を進め、効率性の向上に取り組んでいく必要がある。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全体の教育条件及び教育環境の整備と向上に結びつく事業であり、公平性が維持できる。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	園児、児童生徒の基本的な生活習慣の確率と学力向上のために、本事業の継続的な推進は必要な取り組みです。本事業の中核である連携教育は、その内容の修正や改善を図りながら一層の充実を目指すものです。		B B	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	「継続」の重視、「情報発信」の重視、「子どもたち同士、学校間をつなぐ絆」を強化の3点を今年度の重点とし、市内の園児及び児童生徒の生活の安定と健全育成のため、本市の幼小中高連携教育の一層の推進を図る。				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		会議の開催や、実践記録の作成に継続して取り組むことで、成果の検証や改善点を明らかにし、次年度以降の本事業の発展につなげる。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	実践的防災教育総合支援事業費						部局等	教育委員会		
							課	学校教育課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策								
	(八街市総合計画)	実施計画			開始	2010	終了	2014		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方			現状値		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠				
	直接の対象者(～に対して)	市立八街南中学校生徒				最終的な受益者				
	事業目的(～という状態にするために)	生徒たちが支援者「共助」としての視点から、被災地へのボランティア活動等を行うことを通じて、自覚を促し、地域の一人として貢献する意識を育てる。								
	具体的な事業内容(～を行う)	被災地(宮城県石巻市)派遣ボランティアを行う。現地の仮設住宅への梅干し・みそピーナツ・菜の花の種・キャロットジュースの配布、吹奏楽部員による演奏、現地視察。								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	実践的防災教育総合支援事業参加人数	人	68	31	55	50			
	事業の効果	実践的防災教育総合支援事業	千円	1715	626	640	640			
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	被災地に立って見て、空気を感知、直接活きを聞くことは絶大なる説得力を持つことができた。帰校後の報告会において、生徒たちは「人生を変える出来事」とも表現している。								
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	1,715	643	640	640			
	決算額		千円	1,715	626	640	0			
		特定・その他財源()	千円	1,715	622	640				
		一般財源	千円		4					
	26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	報償費	30		バス賃借料	378				
		消耗品費	178		印刷製本費	39				
		通信運搬費	15							

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価		
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の中にも被災地へのボランティアを行っているので、必要性は充分考えられる。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	生徒たちがボランティア活動を行うことで、災害時において、活動の中心となることが出来るため、妥当と考える。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	ボランティア活動に行った生徒たちの感想や発表を聞くと、ボランティアに対する意識が高まったと考える		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	ボランティア活動を実施するに当たり、定期的に事前会議を開催し、計画的に準備を進めることが出来る。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内4中学校あるが、派遣ボランティア活動できるのは、1校であった。	B	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	ボランティア活動を通じて自助・共助の意識が高まり、まちづくりに役立つ態度も育つので今後も継続したい。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

27年度における取組のPRと方向性	平成27年度は、八街中央中学校が被災地(宮城県塩竈市)へのボランティア活動を行う。生徒たちひとり一人が「自分のこと」として防災意識を高め自助・共助の意識の元に行動できるようにしたい。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	実践委員会の開催、防災教育講演会の開催。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	小学校教育振興費						部局等	教育委員会		
							課	学校教育課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
	具体的施策	学校教育の充実								
	(八街市総合計画)実施計画					開始	2010	終了	2014	
②	「めざそう！ね(値)」指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方				現状値
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠				
	直接の対象者(～に対して)	市内小中学校児童生徒				最終的な受益者	市内小中学校児童生徒			
	事業目的(～という状態にするために)	地域の教育力を取り入れ、児童の興味関心を高めるとともに、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。								
具体的な事業内容(～を行う)	ゲストティーチャーの招聘を行う。 図書の購入を行う。 各種大会出場のためのバスの借り上げを行う。 教育用コンピューターの保守業務を行う。									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	ゲストティーチャー活用事業 小学校		回	144	156	160	160		
		事業の効果		児童の興味・関心の向上						
			専門的な知識・技能の伝達							
		備品購入(図書)								
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図ることができた。								
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	29,586	22,071	14,299	21,097			
	決算額			千円	29,586	21,472	14,015	0		
		特定・その他財源()		千円						
一般財源		千円	29,586	21,472	14,015					
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費 3103	委託料 2599	備品購入費 0						
		役務費 1007	使用料及び賃借料 7237							
		負担金補助及び交付金 71	報償費 0							

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価		
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは、教育効果を高める上で重要なことであるという認識は高まっている。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	新しい学習内容に即した地域人材の活用・図書教材の購入は、学習意欲の向上・国語力の育成等において重要であり、市の関与は妥当である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童の体験的活動において、専門的な知識・技能を取り入れることにより、児童が意欲的に学習に取り組むと考える。また、図書の購入に伴い国語における読む力の向上が期待できる。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各校が教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれると考える。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	各学校の教育活動を工夫・改善し児童生徒の学習意欲を高めるために重要である。特に、児童生徒の読む力の育成は急務であり、事業の継続が求められる。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

27年度における取組のPRと方向性	地域のゲストティーチャー活用事業を推進することで、地域の力が子どもたちの学びの力にも大きくつながっていく。また、図書の購入に伴い、国語における読む力の向上に期待ができる。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	今後も学校教育に求められるものは多岐にわたる。時代のニーズに合わせた教育活動の実践のためにも、外部人材の活用や学校図書の充実など市内各校の支援を充実させていく。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	小学校教材備品等購入費						部局等	教育委員会		
							課	学校教育課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策								
	(八街市総合計画)	実施計画					開始	2010	終了	2014
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者(～に対して)	市立小学校児童				最終的な受益者				
	事業目的(～という状態にするために)	小学校に対して、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。								
	具体的な事業内容(～を行う)	市立小学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	教材備品購入学校数	校	9	9	9	9			
	事業の効果	教材備品購入費	千円	2,006	1,804	1,774	1,709			
		事業効果に関する外部要因								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	市内各小学校が教科指導上必要とする教材備品を購入し、整備した。								
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	2,010	1,809	1,809	1,709			
	決算額		千円	2,006	1,804	1,774	0			
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	2,006	1,804	1,774				
	26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	備品購入費 1,774								

Check 事務事業の評価

⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A
市の関与は妥当ですか		a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		B	
効率性	事業の効率性を高められますか	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小学校に対し整備をしており、公平である。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備をしているが、全体的に予算不足である。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	27年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な教材備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき教材備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校理科教育振興用備品購入費						部局等		教育委員会	
								課		学校教育課	
								職・氏名		副主幹・関 貴美代	
								電話番号		443-1446 内線 2365	
								E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
	(八街市総合計画)	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感ずる街								
		具体的施策									
	実施計画							開始	2010	終了	2014
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法		
直接の対象者(～に対して)	市立小学校児童						最終的な受益者				
事業目的(～という状態にするために)	小学校に対して、教科指導上必要な理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	市立小学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	事業の実績	理科備品現有数	%	82.6	78.3	82.7	82.7				
	事業の効果	理科備品購入費	千円	1,306	3,122	4,201	980				
	事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		市内各小学校が教科指導上必要とする理科備品を購入し整備した。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		1,313	3,186	4,310	980			
	決算額		千円		1,306	3,122	4,201	0			
		特定・その他財源()	千円		326	1,560	2,100				
	一般財源	千円		980	1,562	2,101					
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		備品購入費	4,201								

Check 事務事業の評価

⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A
市の関与は妥当ですか		a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		B	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小学校に対し整備をしており、公平である。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備をしているが、全体的に予算不足である。今年度は、国の補助金が追加交付されたため、必要な備品が整備できた。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	27年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な理科備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。また平成24年度から1校あたりの国の基準額が下がったことにより、備品台帳により廃棄等の見直しを行い、国の補助金を活用する。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき理科備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	小学校児童援助奨励費						部局等	教育委員会		
							課	学校教育課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	具体的施策	学校教育の充実								
	実施計画					開始	2010	終了	2014	
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	■ 直接実施 □ 業務委託 □ 補助金交付 □ 負担金 □ その他 ()	実施根拠				八街市要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助実施要綱				
直接の対象者(～に対して)	市内に住所を有し、経済的理由により就学が困難な児童の保護者				最終的な受益者	児童の保護者				
事業目的(～という状態にするために)	経済的理由により就学が困難と認められる児童に必要な教育を受けさせるため。									
具体的な事業内容(～を行う)	学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等の援助を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	準要保護児童認定数	人	272	268	248	200			
						(実認定数)				
	事業の効果	準要保護児童認定率	%	7.2	7.3	7.1	6			
						(3/31児童数)				
	事業効果に関する外部要因	不安定な雇用形態やリストラ、離婚件数の増加								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	経済的理由により教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	16,897	16,158	16,604	14,946			
	決算額		千円	16,697	15,582	16,237	0			
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	16,697	15,582	16,237				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		20 扶助費	16,237							
		準要保護	16,237							

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価	
		必要性	a	昨今の厳しい社会情勢により保護者のリストラや離婚等により、安定した収入が得られない世帯が増加しているため、市民からのニーズは高い。	
市の関与は妥当ですか	a	平成24年度に要綱を制定したため、妥当である。			
有効性	b	教育の機会均等の見地から効果は得られている。		B	
効率性	b	認定基準の厳格化により、効率性は更に高められる。		B	
公平性	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象であるが、認定基準上、少数の特定市民対が対象となっているため、基準の透明化・厳格化の推進が更に必要である。	B	
総合評価	b	教育の機会均等に資するため、継続的に		B	B

Action 今後の事務事業の方向

25年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携をし、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、制度の公平性を確保するため、基準の透明化・厳格化の推進を図る。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要がある。基準の厳格化について、推進する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校教育振興費					部局等		教育委員会		
							課		学校教育課		
							職・氏名		指導主事・磯辺 邦彦		
							電話番号		443-1446	内線	2364
							E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	(八街市総合計画)	施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策									
	実施計画					開始	2010	終了	2014		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠				
	直接の対象者(～に対して)	全中学校生徒					最終的な受益者				
事業目的(～という状態にするために)	地域の教育力を取り入れ、生徒の興味関心を高めると共に、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。										
具体的な事業内容(～を行う)	ゲストティーチャーの招聘、図書の購入、各種大会出場のための送迎用バスの借り上げを行う。また、教育用コンピュータ保守業務を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	事業の実績	ゲストティーチャー活用事業		回	60	66	66	70			
	事業の効果	生徒の興味・関心の向上									
		専門的な知識・技能の伝達									
		備品購入(図書)									
	事業効果に関する外部要因	外部人材の活用、図書の充実、コンピュータの保守業務については、市町村の状況に合わせた形で実施されている。大会への移動については、バスの保有等により様々である。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図る。										
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	18,469	14,187	9,306	11,006				
	決算額			千円	17,478	13,539	9,056	0			
		特定・その他財源()		千円							
	一般財源		千円	17,478	13,539	9,056					
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	1,440	負担金補助等	1,086	備品購入費	0				
		役員費	436	使用料	4,912						
		委託費	1,184	報償費	0						

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価		
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携を行う上で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは重要なことと考える。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	外部人材の活用、また新しい学習内容に即した図書教材の購入は生徒の国語力を育成する上で重要と考える。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	生徒の体験的活動において、専門的な知識・技能を取り入れることにより生徒が意識的に学習に取り組むと考える。図書の購入に伴い、国語力の向上が期待できる。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各中学校においてが教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各中学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれる。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	各中学校の教育活動を工夫・改善し、生徒の学習への意欲を高めるために重要である。特に生徒の読む力の育成は急務であり、事業の継続が求められる。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

27年度における取組のPRと方向性	ゲストティーチャーの招聘、学校図書館の図書の購入、各種大会出場のため最低限の予算措置、及び事業の実施。教育用コンピュータ保守業務を行う。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	各中学校生徒の学習意欲を高め、学力の向上のため継続して実施する。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校教材備品等購入費						部局等		教育委員会	
								課		学校教育課	
								職・氏名		副主幹・関 貴美代	
								電話番号		443-1446 内線 2365	
								E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
	(八街市総合計画)	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感ずる街								
		具体的施策									
	実施計画							開始	2010	終了	2014
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方			現状値		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校教育法		
直接の対象者(～に対して)	市内中学校生徒						最終的な受益者				
事業目的(～という状態にするために)	中学校に対して、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	市立中学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	事業の実績	教材備品購入学校数	校	4	4	4	4				
	事業の効果	教材備品購入費	千円	1,629	1,481	1,445	1,485				
	事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		市内各中学校が教科指導上必要とする教材備品を購入し、整備した。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		1,650	1,485	1,485	1,485			
	決算額		千円		1,629	1,481	1,445	0			
		特定・その他財源()	千円								
	一般財源	千円		1,629	1,481	1,445					
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		備品購入費		1,445							

Check 事務事業の評価

⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A
市の関与は妥当ですか		a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		B	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備をしており、公平である。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備をしているが、全体的に予算不足である。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	27年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な教材備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき教材備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校理科教育振興用備品購入費						部局等		教育委員会	
								課		学校教育課	
								職・氏名		副主幹・関 貴美代	
								電話番号		443-1446 内線 2365	
								E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
	(八街市総合計画)	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感ずる街								
		具体的施策									
		実施計画							開始	2010	終了
			「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		学校教育法	
直接の対象者(～に対して)	市立中学校生徒						最終的な受益者				
事業目的(～という状態にするために)	中学校に対して、教科指導上必要な理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	市立中学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	事業の実績	理科備品現有率	%	72.4	75.3	76.1	76.1				
	事業の効果	理科備品購入費	千円	986	1,089	2,619	820				
	事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		市内各中学校が教科指導上必要とする理科備品を購入し、整備した。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		1,100	2,661	790	820			
	決算額		千円		1,089	2,619	790	0			
		特定・その他財源()	千円		179	1,290	395				
		一般財源	千円		910	1,329	395				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		備品購入費		790							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備をしており、公平である。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備をしているが、全体的に予算不足である。今年度は、国の補助金が追加交付されたため、必要な備品が整備できた。		A A	

Action 今後の事務事業の方向

⑥	27年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な理科備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。また平成24年度から1校あたりの国の基準額が下がったことにより、備品台帳により廃棄等の見直しを行い、国の補助金を活用する。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき理科備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	中学校生徒援助奨励費						部局等	教育委員会		
							課	学校教育課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	実施計画	具体的施策	学校教育の充実							
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方	開始	2010	終了	2014	現状値
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	八街市要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助実施要綱			
	直接の対象者(～に対して)	市内に住所を有し、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者				最終的な受益者	生徒の保護者			
事業目的(～という状態にするために)	経済的理由により就学が困難と認められる生徒に必要な教育を受けさせるため。									
具体的な事業内容(～を行う)	学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等の援助を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	準要保護生徒認定数	人	163	156	164	170			
						(実認定数)				
	事業の効果	準要保護児童認定率	%	7.3	7.3	7.9	8.4			
						(3/31生徒数)				
	事業効果に関する外部要因	不安定な雇用形態やリストラ、離婚件数の増加								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	経済的理由により教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	15,316	14,600	16,540	19,661			
	決算額		千円	14,785	14,172	16,378	0			
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	14,785	14,172	16,378				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		20 扶助費	16,378							
		準要保護	16,378							

Check 事務事業の評価

⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	昨今の厳しい社会情勢により保護者のリストラや離婚等により、安定した収入が得られない世帯が増加しているため、市民からのニーズは高い。		A
市の関与は妥当ですか		a	平成24年度に要綱を制定したため、妥当である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	b	教育の機会均等の見地から効果は得られている。		B	
効率性	事業の効率性を高められますか	b	認定基準の厳格化により、効率性は更に高められる。		B	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象であるが、認定基準上、少数の特定市民対が対象となっているため、基準の透明化・厳格化の推進が更に必要である。	B	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	教育の機会均等に資するため、継続的に		B	B

Action 今後の事務事業の方向

⑥	25年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携をし、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、制度の公平性を確保するため、基準の透明化・厳格化の推進を図る。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要がある。基準の厳格化について、推進する必要がある。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	学校保健諸費						部局等	教育委員会			
							課	学校教育課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	健康づくりの推進	開始	2010	終了	2014				
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方				
	■ 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	実施根拠							
	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他	()								
直接の対象者(～に対して)	幼稚園児・児童・生徒・養護教諭・保健主事					最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・保護者				
事業目的(～という状態にするために)	・学校管理下における児童、生徒等の災害に対し精神的、経済的負担の軽減を図る。 ・学校保健会、養護教諭会、保健主事会の健全な運営を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	・負担金(日本スポーツ振興センター災害共済掛金、県郡学校保健会、県郡養護教諭会、県郡保健主事会)										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	事業の実績	1	日本スポーツ振興センター災害共済掛金	人	6,383	6,113	5,265	5,066			
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会負担金	千円	197	193	183	182			
	事業の効果	1	児童・生徒に対する共済給付	人	471	475	502	182			
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会の健全な育成	千円	197	193	183	182			
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)										
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		6,062	5,680	5,504	5,252			
	決算額			千円		5,886	5,648	5,448	0		
		特定・その他財源()	千円								
	一般財源	千円		5,886	5,648	5,448					
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	1								
		負担金補助及び交付金	5,447								

Check 事務事業の評価

⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	安心・安全な学校生活を送るため、対象者からのニーズは高い。		A
市の関与は妥当ですか		a	学校管理下における児童・生徒等の災害に対し必要な事業である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	幼稚園児、児童、生徒及び保護者の精神的、経済的負担の軽減が図られる。 学校保健会等の健全な運営が図られる。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	月1回、学校(園)から申請のあったものを確認のうえ、遅滞なく日本スポーツ振興センターに提出しており、給付金についても適正に処理している。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全市立幼稚園児、児童・生徒が対象であり、公平性はあるが、受益者負担はない。	B	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	安心・安全な学校生活を送るため必要性の高い事業である。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	26年度における取組のPRと方向性	保護者、学校、教育委員会、日本スポーツ振興センター相互の連携を密にし、申請もれ、加入もれ等が生じないよう適切に処理する。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 関係機関と連携し、適正に事業を実施する。 ケガ、事故等を未然に防ぐため、学校保健会、養護教諭、保健主事と連携し、安全教育や安全点検等を充実する。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	学校保健管理費						部局等	教育委員会		
							課	学校教育課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
	具体的施策	学校教育の充実								
	(八街市総合計画)実施計画	健康づくりの推進	開始	2010	終了	2014				
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	学校保健安全法			
	直接の対象者(～に対して)	幼稚園児・児童・生徒・教職員				最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・保護者			
	事業目的(～という状態にするために)	・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康保持増進を図ることにより、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に質する。 ・安全で衛生に配慮した学校給食の提供。 ・学校環境衛生を維持・管理し、健康的な学習環境を確保する。								
具体的な事業内容(～を行う)	・幼稚園児、児童、生徒の健康診断・教職員健康診断・就学時健康診断・環境検査測定業務・給食補助員の配置。									
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	1	幼稚園児・児童・生徒・教職員の健康診断及び就学時健康診断	人	7,407	7,150	6,862	6,644		
		2	環境検査(水質・空気・照度等)	園 学校数	16	16	16	16		
		3	給食補助員の数	人	18	18	18	18		
	事業の効果	1	健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療	人	7,407	7,150	6,862	6,644		
		2	学校環境の衛生的な維持	園 学校数	16	16	16	16		
		3	安全で衛生に配慮した学校給食の提供	人	18	18	18	18		
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康管理及び学校環境を衛生的に保持した。								
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	32,821	30,693	32,306	32,000			
	決算額			千円	31,180	29,970	29,841	0		
		特定・その他財源()		千円						
		一般財源		千円	31,180	29,970	29,841			
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	9,426	役員費	1,683					
		賃金	10,187	委託料	7,958					
		需用費	587							

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価		
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	健全育成や健康づくりの観点からニーズは高い。		
		市の関与は妥当ですか	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準による事業のため妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	健康に対する関心が高くなり、健康教育の一環となっている。健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療。学校環境を衛生的に維持した。		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	給食補助員については、臨時職員であり、期間給対応により委託よりも安価となっている。健康診断検査等は健診専門機関へ委託。		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	対象者は市立幼稚園児、児童、生徒及び学校教職員全員であるため幸平である。	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準にそって適正に実施している。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	26年度における取組のPRと方向性	各健康診断については年間計画に沿って適正に実施する。検査対象年齢の見直しを行う。未受診者の事後指導を実施する。給食配膳室の衛生管理を徹底する。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校保健安全法の改正等に留意し、適切に事業を推進する。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	社会教育総務費(社会教育委員及び社会教育、家庭教育指導員の委嘱)						部局等	教育委員会		
							課	社会教育課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策								
	(八街市総合計画)	実施計画					開始	2010	終了	2014
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	社会教育法、八街市社会教育委員に関する条例、八街市社会教育指導員の設置等に関する規則、八街市家庭教育指導員の設置等に関する規則			
	直接の対象者(～に対して)	市民				最終的な受益者	市民			
	事業目的(～という状態にするために)	市の社会教育の充実を図るため、社会教育委員を委嘱し社会教育に関する意見や教育委員会の諮問に答申を得る。社会教育指導員及び家庭教育指導員を委嘱することで、高齢者教育及び家庭教育の充実を図る。								
具体的な事業内容(～を行う)	1.社会教育委員会議を開催し、社会教育事業について検証や提案を行う。また、教育委員会の諮問に対する答申や提言を行う。 2.社会教育指導員による高齢者学級や生きがい短期大学への指導・助言を行う。 3.家庭教育指導員による家庭教育相談業務や幼・小・中学校で開催する家庭教育学級への指導・助言を行う。									
②	該当項目									
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	社会教育委員会議の開催		回	5	5	5	5		
		高齢者学級の実施(自主学級)		学級数	10	10	10	10		
		家庭教育学級の実施		学級数	15	15	15	15		
	事業の効果	高齢者学級開催数		回	68	67	68	68		
		家庭教育学級修了者数		人	258	245	242	300		
	事業効果に関する外部要因									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		社会教育委員会議の意見等を事業に反映させ、活性化することができた。 高齢者学級へ社会教育指導員が関わることにより、充実した計画で学級運営を行うことができた。 家庭教育指導員が家庭教育学級を指導することで、円滑に充実した運営を実施できた。								
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	4,336	4,332	4,294	4,334			
	決算額			千円	4,267	4,245	4,259	0		
		特定・その他財源()		千円						
	一般財源		千円	4,267	4,245	4,259				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報酬	3,689						

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価	
		必要性	a	社会教育事業に市民の意見や要望を反映させるため社会教育委員は必要である。社会教育指導員及び家庭教育指導員は専門的知識を活用した指導を各事業で実施しており重要な役割を担っている。	A
必要性	a	社会教育委員は社会教育行政の重要事項を審議し、指導員は高齢者教育、家庭教育を推進するため大きな役割を担っているため市の関与は妥当と考える。	A		
有効性	a	社会教育委員の意見を社会教育事業に反映させることで事業の充実が図られている。社会教育指導員、家庭教育指導員による適切な指導・助言は円滑な事業の実施に貢献している。	A		
効率性	a	社会教育委員は社会教育推進のため、年5回の会議を行っている。委員定数の改正を行い、適正な人数での活動に努めている。指導員は週3回の勤務で効率的な指導を行っている。	A		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	社会教育委員の審議内容は、不特定多数の市民を対象としている社会教育事業に反映される。高齢者・家庭教育の支援は多数の市民を対象としている。	A	
総合評価	a	社会教育委員は年5回の会議や社会教育振興大会を主体的に実施すること等により、社会教育の推進に大きく貢献している。人口の高齢化や家庭教育の必要性が注目されている現代には高齢者教育、家庭教育を推進する指導員の必要性は高いと考える。	A	A	

Action 今後の事務事業の方向

27年度における取組のPRと方向性	社会教育振興大会の充実を図り、市民に社会教育の重要性を訴える。家庭教育の重要性を周知する文書を作成・配布し、併せて相談窓口について情報提供も行う。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	社会教育委員は社会教育に関する計画を立案する等、重要な機関であり継続して実施する。高齢者教育、家庭教育の充実のため、社会教育指導員・家庭教育指導員がそれぞれの学級を継続的に支援していく。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	生涯学習振興費						部局等	教育委員会		
								課	社会教育課	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
	実施計画	社会教育活動の推進				開始	2010	終了	2014	
① 事務事業の概要	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	教育基本法 社会教育法	
	直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民	
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
	事業目的(～という状態にするために)	市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会などとおして、生涯にわたり生きがいのある生活と、心がかようまちづくりを目標として、市民の学習に対する関心を高める。								
	具体的な事業内容(～を行う)	市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会など								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	1	社会教育振興大会の開催	回	1	1	1	1		
		2	家庭教育講演会の開催	回	1	1	1	1		
		3	家庭教育学級の実施	学級	15	15	15	15		
		4	千葉黎明高等学校開放講座の実施	講座	3	3	3	3		
		5	地域ミニ集会の実施	会場	6	5	6	6		
		6	輝く女性の研修会の開催	回	1	1	1	1		
		7	地域コーディネーター講座の開催	講座	1	1	0	0		
	事業の効果	1	社会教育振興大会の参加者数	人	300	589	249	350		
		2	家庭教育講演会の参加者数	人	343	395	370	400		
		3	家庭教育学級の学級生数	人	836	893	1002	1000		
		4	千葉黎明高等学校開放講座の参加者数	人	75	85	89	89		
		5	輝く女性の研修会の参加者数	人	326	372	269	350		
6		地域コーディネーター講座参加者数	人	11	8	0	0			
	事業効果に関する外部要因	家庭教育学級の学級生数は児童・生徒の減少や社会状況の変化により影響を受ける。								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	多くの事業で参加者を増やすことができ、市民の学習要求に応えることができた。 地域コーディネーター講座については、地域の方々为学校支援に関わっていただく内容で平成25年度までに全ての小学校区で開催できたため、平成26年度から市単独事業の講座は休止しています。								
④ 事業コスト			単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	1,521	1,092	956	1,149			
	決算額		千円	1,449	1,010	888	0			
	特定・その他財源()		千円	73	68	83				
	一般財源		千円	1,376	942	805				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	133	需用費	221					
		役務費	284	委託費	250					

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	a	市民の価値観が多様化され、生涯学習に対する市民の要求は高まっており、今後も需要は増大すると思われる。		A	
	a	学習の需要を踏まえた学習の機会提供及び奨励を行い、生涯学習振興の寄与に努めることは地方自治体の任務である。			
有効性	b	講演会や大会へ多数の市民の出席を得ることができ、学習機会を提供できた。		B	
効率性	a	ボランティアの活用等、経費の節減を積極的に行っている。		A	
公平性	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	講座等で材料費等が必要な場合は参加者の負担としている。	A	
総合評価	a	地域力向上につながる講演会や講座を実施することができた。市民が主体的に参加する事業を企画していく。		A	B

Action 今後の事務事業の方向

27年度における取組のPRと方向性	市広報、ホームページ、メール配信等の情報技術を利用し、より多くの人に周知することで参加者を拡大する。家庭教育の部分で他部局との連携を持つ						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	多岐にわたる市民の生涯学習ニーズに応えるために、より充実した事業を展開する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	文化振興事業						部局等	教育委員会			
							課	社会教育課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								
(八街市総合計画)	具体的施策	市民文化の創造									
	実施計画	芸術文化の振興			開始	2010	終了	2014			
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	市民文化祭出演・出品者数		指標	出演・出品者数の推移を見ます		めざそう値(目標は設定せず経年変化をモニタリングします)	現状値	1081	
	■ 直接実施 □ 業務委託 ■ 補助金交付 □ 負担金 □ その他 ()	実施根拠	文化芸術振興基本法 社会教育法								
直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民			
事業目的(～という状態にするために)	市民文化の向上を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	八街市民音楽祭及び市民文化祭を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	文化施設整備								
			文化ホールの建設								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	事業の実績	1	市民文化祭の実施	回	1	1	1	1			
		2	市民音楽祭の実施	回	1	1	1	1			
	事業の効果	1	市民文化祭の出演・出品者数	人	1068	1060	1081	1100			
		2	市民音楽祭の出演者・来場者数	人	804	1027	912	886			
	事業効果に関する外部要因	事業への参加団体の固定化									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	市民文化祭、市民音楽祭ともに、市民が実行委員となり協働による事業実施ができた。										
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		674	580	517	601			
	決算額		千円		671	559	500	0			
		特定・その他財源()	千円								
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	報償費	60	需用費	80							
	補助金	360									

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価	
⑤ 事務事業 の評価	必要性 市民からのニーズは高いですか	a	文化活動団体は多数あり、市民の文化活動に対する需要は大きい。	A	
		a	文化芸術振興基本法により市が地域の特性に応じた施策を実施する必要があることから、市民文化の発表機会を提供することは必要と考える。市と市民との協働により開催している。		
	有効性 期待された効果は得られていますか	b	多数の市民が文化活動の発表の場として参加している。	B	
	効率性 事業の効率性を高められますか	a	市民が実行委員となり協働により事業を実施している。	A	
	公平性 事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	実施日数や時間の制限により参加団体数に限りがあり、参加者が固定化傾向にある。	B
総合評価 総括及び事業実施上の課題	a	市民が実行委員となる協働により、市民文化祭・市民音楽祭を共に実施することができた。参加者の固定化や会場施設の充実が課題である。	B	B	

Action 今後の事務事業の方向

27年度における取組のPRと方向性	より多くの市民に参加してもらえるように、情報技術を活用したPRを行っていく。
⑥ 事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	芸術家の作品展との連携など、市民が文化芸術に興味を持ち、参加につながるような幅広い事業展開を行っていく。

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名	文化財保護費						部局等	教育委員会				
								課	社会教育課			
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025			
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街						職・氏名	主査補 青柳好宏		
(八街市総合計画)		具体的施策	文化財の保護・継承						電話番号	443-1464	内線	2387
		実施計画							E-mail	shakvo@city.yachimata.lg.jp		
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	「めざそう！ね(値)」	指標	市指定文化財の件数	指標	文化財の保護が図られているかどうかを見ます。	めざそう値(12件の指定増を目標とします。)	現状値 18				
		「めざそう！ね(値)」	指標	文化財周知用立看板数	指標	文化財の保護が図られているかどうかを見ます。	めざそう値(1ベース値に近づけることを目標とします。)	現状値 67				
③実績・成果	事業の実績	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (文化財ボランティアとの協働事業)				実施根拠	文化財保護法 千葉県文化財保護条例 八街市文化財保護に関する条例 外				
		直接の対象者(～に対して)	①市民、土木工事等を行う者、文化財 ②市指定文化財所有者・管理者・保持者				最終的な受益者	市民				
④事業コスト	事業の目的(～という状態にするために)	市民文化向上・発展のため、文化財の保護・活用・継承を図る。										
		具体的な事業内容(～を行う)	○指定文化財の指定・管理・活用 ○埋蔵文化財の取扱い(照会・発掘調査等) ○各種文化財の保護 ○市指定無形民俗文化財保持者への支援 ○文化財ボランティアの育成及び活動支援 ○市民へ郷土の歴史・文化を学ぶ機会の提供									
Do 事務事業の実施												
③実績・成果	事業の成果	事業効果に関する外部要因	出前講座の受講者数が24年度に大幅な伸びを見せているが、多人数の団体及び小学校の受講者によるところが大きい。									
		事業効果の総合分析(達成できたこと)	①受講者からの満足度は高く、多くのリピーターを獲得している。 ②文化財周知用立看板について、地元住民からの問い合わせも多く、文化財に対する認知・周知に寄与している。 ③文化財ボランティアは、定期的な活動のみならず、突発的な事業に対しても積極的に協力頂いている。 ④埋蔵文化財の取扱い等について、土木工事等を実施する事業者に対し適切な指示・協議を行い、円滑に事業を推進している。									
④事業コスト	決算額	区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)					
		(最終)予算額	千円		718	901	1,046	878				
④事業コスト	26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	報酬	51	負担金補助金			149					
		需用費	240	使用料等			182					
④事業コスト	26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	委託費	193									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	法・条例に基づく事務・調査の他、行政のみが実施可能な業務が大半である。また、郷土の歴史を知り、文化財を保護することは、国民の文化の向上・発展のために必要不可欠であるため業務の必要性は高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	文化財の規模等を勘案しながら実施しており、法・条例に基づく事業に関しては妥当な水準である。文化財保護事業にいたっては、補助金の減額や一事業に対し複数年度で段階的に実施するなど、財政状況を加味しながら対応している。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	全ての事業成果及び市民からの期待値を数値として表し、把握することは難しいが、法・条例に基づく事業については滞りなく推進している。また、文化財の保存・活用事業においても、ボランティア等の応援を頂きながら整備を実施しており、予算・支出に配慮しながら、上位施策である市民文化の継承に寄与している。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	出前講座・ボランティア活動支援等はわずかな消耗品費以外の支出はない。埋蔵文化財行政における市教委負担についても、本市で実施される事業規模で、国・県の補助金を導入することは、事務的負担や期間的制約が、事業者・教委双方に影響が大きくなり、現在の手法が最も廉価且つ効率的であるといえる。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	多くの業務が市・県・国民の利益に繋がるものであり、公平性は極めて高い。また、埋蔵文化財行政においても原因者に対して、現場の環境整備・現状復帰・本調査費用等、応分の負担をお願いしている。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	文化財の保存・活用及び法・条例に基づく事務・調査については、予算規模を考慮しながら実施している。また、市民の文化財等に関する認知度を向上させるため、各種冊子の利用や出前講座等を実施しているが、引続き継続的な取り組みが必要である。		A A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	文化財の活用として、郷土資料館の企画展に併せた史跡散策会等を実施することで、双方の事業に効果的・効率的な事業を推進する。普及面では、継続的に冊子「八街の文化財」の活用や歴史文化財出前講座を実施しながら、市民の文化財に対する理解を深めていく。また、文化財等の活用や保存整備を実施する中で、文化財ボランティアを活用し、官民の協働事業として文化財の保護・継承を進める。				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 </p> <p>埋蔵文化財の取扱い等については法・条例に基づいて進めているが、現在の体制・対応を維持できるよう、事業者等へ理解と協力を求めていく。また、文化財保護については、市民の理解・認識を深めるために、文化財周知用立看板や各種講座等の普及活動を充実させ、官民協働での保護意識・体制づくりを推進する</p>				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	青少年健全育成費事業						部局等	教育委員会		
							課	社会教育課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実								
	実施計画	青少年の健全育成				開始	2010	終了	2014	
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	■ 直接実施 □ 業務委託 ■ 補助金交付 □ 負担金 □ その他 ()					実施根拠	社会教育法			
直接の対象者(～に対して)	市民				最終的な受益者	市民				
事業目的(～という状態にするために)	青少年教育事業をととして青少年の健全育成を推進する。									
具体的な事業内容(～を行う)	青少年教育事業及び青少年相談員の委嘱									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	青少年健全育成							
			青少年の素行改善							
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	1	青少年相談員主催事業の実施	事業	2	2	2	2		
		2	通学合宿の実施	回	1	2	2	2		
		3	スクールコンサートの実施	校	4	4	4	0		
		4	成人式の実施	回	1	1	1	1		
		5								
	事業の効果	1	夏休み交流会の参加者数	人	1095	1178	1233	1250		
		2	少年少女つどい大会の参加者数	人	124	96	135	200		
		3	通学合宿の参加者数	人	18	39	19	40		
		4	成人式の参加者数	人	639	647	686	673		
5										
事業効果に関する外部要因	青少年相談員やボランティアの協力が必要。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	学校・家庭・地域の連携の元、青少年健全育成事業を実施し、その必要性をアピールできた。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	2,705	2,693	3,481	1,851			
	決算額			千円	2,684	2,567	3,328	0		
		特定・その他財源()	千円	205	190	823				
		一般財源	千円	2,479	2,377	2,505				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	434	需用費	1,011					
		役務費	1,242	補助金	594					
		賃借料	47							

Check 事務事業の評価

⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	次代を担う青少年を健全に育成することは社会全体が必要としている。		A
市の関与は妥当ですか		a	青少年を健全に育成することは社会的な課題であり、市の関与は必要である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	b	学校・家庭・地域、青少年相談員等の団体の協力により事業を実施し、参加者の青少年健全育成の意識向上につながった。		B	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	必要最小限の予算で事業を実施している。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	食費等の実費を参加者の負担としている。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	青少年を取り巻く環境が大きく変化している現代では、青少年健全育成は重要であり、さらなる拡充が求められるとともに時代に対応した事業を展開する必要がある。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	27年度における取組のPRと方向性	青少年健全育成の重要性を認識してもらうための啓発運動を実施し、あらゆる機会を活用してPRに努めるとともに、学校・家庭・地域が連携して事業を展開していく。スクールコンサートは休止とする。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		青少年健全育成の中核組織となる「八街っ子サポート連絡協議会」を中心に、学校・家庭・地域が連携した事業を展開していく。事業の結果を踏まえて内容の検証を行っていく。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	こども110番支援事業						部局等	教育委員会			
							課	社会教育課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策									
	(八街市総合計画)	実施計画					開始	2010	終了	2014	
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (こども110番推進委員会)						実施根拠		
		直接の対象者(～に対して)	こども110番推進委員会						最終的な受益者	市民	
		事業目的(～という状態にするために)	子どもたちに対する犯罪を未然に防ぎ、緊急避難場所の確保を目的としたこども110番事業の支援。								
		具体的な事業内容(～を行う)	協力世帯募集、看板作成支援及び協力世帯に対する保険加入。								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	事業の実績	1	協力募集チラシ配布数	枚	1239	1237	1253	1163			
	事業の効果	1	協力世帯数	世帯	1913	1916	1928	2000			
事業効果に関する外部要因		PTA連絡協議会の取り組み									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		事件・事故の発生時に子どもが逃げ込める場所を確保するとともに、看板を設置していただくことで、青少年への犯罪に対する抑止効果を発揮している。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		116	109	295	135			
	決算額		千円		111	105	291	0			
		特定・その他財源()	千円								
		一般財源	千円		111	105	291				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	195								
		役務費	96								

Check 事務事業の評価

⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	児童・生徒を凶悪犯罪から守ることは社会的な課題である。		A
市の関与は妥当ですか		b	学校・家庭・地域が連携を図る上でも市の関与は妥当である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童・生徒に事件・事故遭遇時に避難できる場所があるという安心感を与えるとともに、犯罪抑止力となる。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	市PTA連絡協議会や学校と連携することで、事業の効率化を図っている。看板交換作業等を職員が実施することで経費節減に努めている。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	負担を求める部分はないと考える。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	「こども110番の家」の看板を掲げることで地域の防犯意識の高さを示し、犯罪抑止効果を発揮するとともに、子どもたちが安心して登下校できる環境を維持する。協力世帯を増やすことと協力世帯の現状把握が課題である。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	27年度における取組のPRと方向性	市広報やホームページの活用と小・中学校の新入生がいる世帯にリーフレットを配布し、市民に周知を図る。こども110番の家設置地区の周知看板の状況調査を行う。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		協力世帯数を拡充し、安全で安心なまちづくりの推進を図る。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	たけのこの里管理運営事業(社会教育施設管理運営費)						部局等	教育委員会		
							課	社会教育課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	具体的施策									
	実施計画					開始	2010	終了	2014	
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠				
直接の対象者(～に対して)	市民				最終的な受益者	市民				
事業目的(～という状態にするために)	子どもたちがたけのこを掘る自然体験活動の場及び市民の憩いの場の提供									
具体的な事業内容(～を行う)	子どもと大人が一緒に行うたけのこ掘り体験施設及び市民に親しまれる施設(憩いの場)として維持するための管理(竹の間引きや除草など)									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	体験学習期間の実施日数	日	22	25	30	30			
	事業の効果	体験者数	人	321	307	339	341			
事業効果に関する外部要因	筈の放射性物質検査を実施する関係で、体験学習期間を短縮する場合がある(26年度は短縮することなく実施できた)。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	子どもを含めたグループ等の体験学習により、自然体験や協力し合う心、親子の恰好のふれあいの場とすることができ、地域教育力や家庭教育力の向上につなげることができた。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	717	718	1,233	658			
	決算額		千円	708	696	1,205				
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	708	696	1,205				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	17	役務費	16					
		委託料	1,071	賃借料	101					

Check 事務事業の評価

⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	b	自然体験施設として利用者からは好評である。		B
市の関与は妥当ですか		c	市有地ではあるが、関与のあり方に検討を要する。			
有効性	期待された効果は得られていますか	c	体験活動がより豊かな人間性の形成や思考・理解の基盤づくりに役立つ		C	
効率性	事業の効率性を高められますか	b	委託と市職員による作業で効率化を図っている。		B	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	教育施設(自然体験)のため、無料が適切と考える。	B	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	c	体験者には好評であるが、たけのこ掘りができる期間は短いため、たけのこ掘りの時期以外の活用方法が課題である。また、市の関与のあり方に検討を要する。		C	B

Action 今後の事務事業の方向

⑥	27年度における取組のPRと方向性	たけのこ掘り体験期間は4/1～4/30で終了している。ホームページで食品中の放射性物質量と体験期間をお知らせした。5月～2月は市民の憩いの場として開放する(3月は筍育成期間のため閉鎖)。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 財政的な問題で委託による管理だけでは維持できないため、職員により管理作業が増大している。教育施設として維持するかも含めて管理方法を検討していく必要がある。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	郷土資料館管理運営事業						部局等	教育委員会		
							課	郷土資料館		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1726	内線
(八街市総合計画)	具体的施策	市民文化の創造と継承								
	実施計画	文化財の保護・継承			開始	2015		終了	2019	
	「めざそう！ね(値)」	指標	来館者数	指標の内容	文化財に対する関心の高さ	めざそう値(目標設定)の考え方	20%増(2,428) 現状値 3,391			
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律・社会教育法・博物館法・八街市郷土資料館設置条例			
	直接の対象者(～に対して)	市民のみならず、来館される全ての方々				最終的な受益者	市民及び来館者			
	事業目的(～という状態にするために)	市内外の方々から寄贈・寄託された各種資料や、発掘調査等で得られた考古資料を広く公開し、市民の郷土への関心やふるさと意識が深まることを目的とする。								
	具体的な事業内容(～を行う)	<input type="checkbox"/> 常設展示の開催 <input type="checkbox"/> 企画展示の開催 <input type="checkbox"/> 体験参加型の展示								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	郷土資料館企画展において実施しているアンケート結果から							
	八街市の貴重な文化財や各種歴史資料を保存・展示・収蔵する施設として、プレハブの建物は不適格である。また、プレハブ施設自体が老朽化していることも問題である。									
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	企画展の開催数		回	1	2	2	1		
		古文書講座の開催日数		日	5	5	0	0		
		歴史講演会の開催数		回	0	0	1	0		
	事業の効果	年間の来館者数		人	3,051	3,461	3,391	3,458(2%増)		
		企画展開催中の来館者数		人	1,119	①930、②995	①1,159、②633	1,182(2%増)		
		古文書講座の応募者数		人	16	20	0	0		
歴史講演会の参加者数		人	0	0	104	0				
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		年間の来館者数については、前年度より若干減少したが、10月から開催した第1回目の企画展については、歴史講演会や現地散策会を併せて開催したこともあり、前年度比229人増(14%増)となり、大きな成果であった。								
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	2,538	2,040	2,294	2,336			
	決算額			千円	2,526	2,001	2,279	0		
		特定・その他財源()		千円						
	一般財源		千円	2,526	2,001	2,279				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			賃金1,245、報償費60、需用費355、役務費483、委託料131、負担金5							

Check 事務事業の評価

	区分		一次評価	判定理由		二次評価		
	⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	郷土の歴史について知りたいという方のみならず、最近では、子どもたちが放課後や長期休暇中に体験コーナーを多く利用するため、子どもの居場所づくりとしての役割もある。		A	
市の関与は妥当ですか			b	八街の歴史を多くの方々に理解してもらうため、調査・研究成果を常設展示及び企画展示に反映できるので妥当と思われる。				
有効性		期待された効果は得られていますか	a	企画展を開催し、常設展示の内容も変えることにより、市民の方に繰り返し来館いただき、市民の八街に対する認識は変わりつつある。		B		
効率性		事業の効率性を高められますか	a	来館者に満足していただけるよう、限られた予算の中で展示方法などに工夫をしている。		A		
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	広く一般に無料で開放している施設であり、公平性は保たれている。		A	
総合評価		総括及び事業実施上の課題	a			A	A	

Action 今後の事務事業の方向

⑥	27年度における取組のPRと方向性	今年度は戦国時代の八街についての企画展示を行う予定であり、興味を持たれている方が多い時代を扱うこともあり、歴史が好きな方のみならず、今まで郷土資料館に来館したことがない方の来館も多く見込まれる。そういった方々に八街について興味を持ってもらい、繰り返し来館していただくため、展示方法や内容、施設環境等の整備を行う必要がある。また、今年度は、昨年図書館より寄贈を受けたAVブースを利活用し、無形民俗文化財等を映像で楽しめるコーナーを新設する。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 今まで八街の歴史に興味のなかった方にも郷土資料館について知っていただくため、展示内容に工夫を凝らしたり、施設環境を整えることにより、郷土資料館のさらなる発展に努める必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	市史編さん事業費						部局等	教育委員会		
							課	郷土資料館		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
	施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街								
(八街市総合計画)	具体的施策	市民の文化の創造と継承								
	実施計画	文化財の保護・継承				開始	2015	終了	2019	
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	公文書館法・公文書等の管理に関する法律・八街市史編さん委員会条例			
	直接の対象者(～に対して)	市民及び八街の歴史に興味のある方々				最終的な受益者	市民、八街の歴史に興味のある方々			
	事業目的(～という状態にするために)	八街の歴史を調査研究し後世に歴史的遺産を伝えるため。								
	具体的な事業内容(～を行う)	○八街市史編さん委員会 ○八街市史編さん委員会 近世専門部会 ○八街市史編さん委員会 近現代部会 ○八街市史関連の図書の刊行								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	郷土資料館企画展において実施しているアンケート結果から							
		イラストを多用した『図解 八街の歴史』は分かりやすくして良い。								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	市史編さん委員会開催日数		日	2	2	2	2		
		近世専門部会開催日数		日	1	1	1	2		
		近現代専門部会開催日数		日	2	2	2	3		
	事業の効果	市史編さん委員会審議件数		件	4	4	4	4		
		近世専門部会委員のべ活動日数		日	97	105	69	77		
		近現代専門部会委員のべ活動日数		日	18	33	35	40		
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		近世専門部会では平成21年度に「八街市史資料編近世二」を刊行し、現在は「八街市史資料編近世三」の刊行に向けて作業を進めている。また、近現代専門部会を平成24年度に結成し八街の開墾関係資料の整理を行い「八街市史資料編近現代一」の刊行に向けて作業を進めている。							
	④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)		
(最終)予算額		千円	3,241	3,416	3,315	2,844				
決算額				千円	3,208	3,350	3,301	0		
		特定・その他財源()		千円						
		一般財源		千円	3,208	3,350	3,301			
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬51、報償費1,631、旅費13、需用費771、役務費810、負担金25								

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内から新たに発見された古文書等について調査研究が進めば、さらに市民のニーズが高まると思われる。		A	
		市の関与は妥当ですか	b	市の歴史を明らかにする作業であるため、直営で実施すべきである。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成23年度に「図解八街の歴史」を刊行し、幅広い世代・年齢層の方に八街の歴史について知っていただいた。これは郷土資料館の来館者数の増加の要因の1つといえる。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	現在の人員体制を続ける以上、長期的な展望を持ち、作業を続ける必要がある。ただし、古文書の専門職員を配置できれば、人件費及び筆耕料を削減できる。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	事業の成果は八街市史として広く公開されるので、公平性に問題はない。		A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a			A	A	
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	27年度における取組のPRと方向性	近世専門部会では、「八街市史 資料編 近世三」の刊行に向けて古文書の整理作業を進め、近現代専門部会では、「八街市史 資料編 近現代一」の刊行に向け調査研究を進める。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		現在の進行状況を鑑みると、一般職ではなく古文書を読む専門職員の配置が必要と考える。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	スポーツ推進審議会会議の開催等(保健体育総務費)						部局等	教育委員会		
							課	スポーツ振興課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツ推進								
	実施計画	生涯スポーツの推進			開始	2005	終了	2009		
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	■ 直接実施 □ 業務委託 ■ 補助金交付						実施根拠	八街市スポーツ推進審議会条例 八街市スポーツ推進委員に関する規則		
直接の対象者(～に対して)	スポーツ関係者					最終的な受益者	市民			
事業目的(～という状態にするために)	市のスポーツ推進を図るため、指導者の育成推進等									
具体的な事業内容(～を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振推進議会委員、スポーツ推進委員報酬 ・印旛郡市体育協会負担金支出等 ・スポーツ振興事業国内遠征激励費支出等 									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	スポーツ推進審議会会議		回	0	1	0	1		
		スポーツ推進委員会会議		回	5	5	5	5		
		スポーツ推進委員活動		回	45	52	48	50		
	事業の効果	スポーツ推進審議会会議		回	0	1	0	1		
		スポーツ推進委員活動		回	45	54	48	50		
	事業効果に関する外部要因									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		<ul style="list-style-type: none"> ・本市スポーツ振興に係る基本的経費となっている。 ・スポーツ推進審議会は教育委員会の諮問に応じスポーツ推進の重要事項について、調査審議し、教育委員会へ建議している。 ・スポーツ推進委員については、市民体育祭をはじめとする各種大会等において、競技役員として活躍している。 また、ノルディック・ウォークをはじめとしたニュースポーツの推進や体験教室などの各種教室等で講師として活躍している。								
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	4,212	3,865	4,978	4,859			
	決算額			千円	3,520	3,480	4,596	0		
		特定・その他財源()		千円						
	一般財源		千円	3,520	3,480	4,596				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	722 役務費		333					
		臨時職員賃金	1,815 負担金・補助金		940					
		需用費・費用弁償	565 賃借料・公課費		221					

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市のスポーツ推進に対する市民のニーズは高くなっており、また、スポーツ推進の重要施策を調査審議・決定するスポーツ推進審議会会議、各行事等役員に関わるスポーツ推進委員会会議は、市民の生活に直接関係があり、スポーツ振興のためにも必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	法に基づき市スポーツ推進の重要事項を審議、決定する機関であり不可欠である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	スポーツ推進委員会会議5回実施した。 本市スポーツ推進に係る基本的経費となっている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	スポーツ推進審議会会議については、必要時に招集し審議を行っている。 臨時職員を雇用・活用し業務を行っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	スポーツ推進審議会会議等で決定された事項は、市のスポーツ推進、各行事の円滑な運営に繋がるもので、公平性に問題はない。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	市民のニーズに対応するため、スポーツ推進審議会会議への諮問を基本とし、業務を遂行していく。また、市民のニーズにあった健康づくり等、スポーツの推進、振興を遂行していく。		A A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	26年度における取組のPRと方向性	教育を取り巻く環境が激変する中、スポーツ推進審議会をはじめ、スポーツ推進委員会等の各種団体の意見を収集し、今後のスポーツの推進に役立てていく。また、現状を把握し、スポーツ推進委員等の人力を活用し、本市のスポーツ推進を図っていく。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 スポーツ推進審議会は、市スポーツ推進の重要事項を審議・決定する機関であり、継続して実施していく必要がある。また、スポーツ推進委員によるニュースポーツの推進や運動を通じた健康づくりの支援等についても、さらに、現状を把握し、本市の一層のスポーツ推進を図っていく必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	各種スポーツ大会の開催等(体育振興費)						部局等	教育委員会		
							課	スポーツ振興課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策								
	(八街市総合計画)	実施計画			開始	2005	終了	2009		
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	スポーツ基本法 各種大会開催経費等			
	直接の対象者(～に対して)	市民				最終的な受益者	市民			
	事業目的(～という状態にするために)	各種スポーツ大会を開催し、市民の健康増進と相互の親睦を深める。								
具体的な事業内容(～を行う)	市民を対象とした各種スポーツ大会の開催 ・市民ゴルフ大会(5月)、近隣中学校交流野球大会(6月)、スポーツレクリエーション祭(8～翌年3月)、少年野球教室(12月)、近隣中学校交流柔道大会(1月)、ロードレース大会(2月) 各種スポーツ団体への活動補助金の交付 ・体育協会 ・スポーツ少年団 ・家庭婦人バレーボール連盟									
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	市民ゴルフ大会		回	1	1	1	1		
		市スポーツ・レクリエーション祭		回	5	6	6	6		
		少年野球教室、市ロードレース大会		回	各1	各1	各1	各1		
	事業の効果	市民ゴルフ大会		人	127	123	140	145		
		市スポーツ・レクリエーション祭(インデイク、ソフトバレー、グラウンドゴルフ、パークゴルフ)		人	529	442	428	500		
		少年野球教室		人	118	102	112	120		
市ロードレース大会		人	279	0	388	400				
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		平成26年度において、市民ゴルフ大会(31回)、少年野球教室(37回)、市ロードレース大会(37回)となり、市民に定着している事業となっている。								
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	4,061	3,866	4,011	3,659			
	決算額			千円	3,791	3,588	3,722			
		特定・その他財源()		千円	(スポーツ振興助成金)		200			
		一般財源		千円	3,791	3,588	3,522			
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費(講師等謝礼)		202 役務費(保険料)		127				
		需用費(消耗品費)		262 備品		200				
		需用費(食糧費)		186 補助金		2,745				

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	本事業は、市民の生涯スポーツの推進への貢献が大きいため必要である。	A	
	市の関与は妥当ですか	a	市主催事業として、妥当であると考ええる。		
有効性	期待された効果は得られていますか	a	実施回数、参加人数の推移からも有効と考えられる。	A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	各事業前の関係団体等との打合せや実施後反省会等により翌年度の事業前に念入りに協議を行い、毎年実施についでいる。	A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	市広報紙やホームページにより市全体に啓蒙を図っているため、公平性は保たれている。	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	各事業実施前後、関係団体等との打合せ会議を行い、前回の反省、次回への反映について協議を行い毎年実施している。今後、更に市民のニーズに応じていく。	A	A

Action 今後の事務事業の方向

26年度における取組のPRと方向性	各関係機関及び団体との会議等の場や市広報紙・ホームページの活用によりPRに努める。また、各団体との信頼並びに協力体制の強化						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	本市のスポーツ振興、生涯スポーツの振興とスポーツを通しての健康づくりに必要不可欠であり、継続して実施していかなければならない。さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	市民体育祭の開催(市民体育祭運営費)						部局等	教育委員会		
							課	スポーツ振興課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	具体的施策									
	実施計画				開始	2005	終了	2009		
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
	■ 直接実施 ■ 業務委託 ■ 補助金交付 □ 負担金 □ その他 ()	実施根拠			スポーツ基本法					
直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民		
事業目的(～という状態にするために)	市民の健康づくりとレクリエーションに対する意識を高め、併せて地域の融和を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	スポーツの祭典を通じて市民の健康づくりとレクリエーションに対する意識を高める。例年10月開催。八街市内8支部で競技を行い競う。また、障がいのある者のオープン種目(パン食い競争)の参加や昼食時間を利用してのアトラクション(公募)									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	市民体育祭	回	中止	1	1	1			
	事業の効果	市民体育祭参加者数	人	中止	2,628	2,717	2,700			
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	本市最大のスポーツ行事であり、スポーツを通じて、市民の健康づくりとレクリエーションに対する意識を高め、併せて地域の融和を図ることに寄与している。オープン参加種目に障がい者の参加や参加しにくい中高年齢以上者の種目の変更等を実施した。また、例年混雑する駐車場を新たに確保することで駐車場緩和に努めた。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	決算額		千円	1,150	2,322	2,804	3,000			
		特定・その他財源()	千円	1,149	2,320	2,717				
		一般財源	千円	1,149	2,320	2,717				
	26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費(消耗品費)	277	役員費	262				
		需用費(食糧費)	139	負担金補助	360					
		賃借料(送迎バス等)	1,679							

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価		
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民のニーズは高くなっており、市内全域から参加者が集まる本市最大のスポーツ行事となっており必要である。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	スポーツ基本法に唱われているように、体育の日において「広く国民があらゆる地域及び職域でそれぞれその生活の実情に即してスポーツをすることができるような行事が実施されるよう」市が関与する必要がある。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成26年度で第59回の歴史があり、参加者数からも成果がみられる。		B	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、前回の反省を含め協議検討を重ね、次年度の実施を行っている。また、テント等賃貸借を外部委託するなど、効率性を高めてきている。		B	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市全体を各支部に分け参加者を募り、また、運動能力テストや障がいのある方を含めオープン参加競技等企画計画するなど公平性に問題はない。	B	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	毎年度、前回の反省点を各方面から検証し、大会を企画及び協議により実施し今日に至っている。今後、さらに協議を重ね、市民のニーズに応じていく。		B	B

Action 今後の事務事業の方向

26年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報紙、ホームページや防災無線等によりPRに努める。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	本市最大の体育の日の行事であり、併せて、地域融和を図ることに寄与していることから継続して実施していかなければならない。平成27年2月に今後の市民体育祭の開催方法について、関係団体と協議をしましたが、更に協議を重ね市民のニーズにあったスポーツの祭典としていきたい。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	八街市ピーナッツ駅伝大会の開催(八街市ピーナッツ駅伝大会運営費)						部局等	教育委員会		
							課	スポーツ振興課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	具体的施策									
	実施計画				開始	2005	終了	2009		
実施方法	■ 直接実施 □ 業務委託 □ 補助金交付 □ 負担金 □ その他 ()	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方			現状値		
		■ 直接実施 □ 業務委託 □ 補助金交付 □ 負担金 □ その他 ()	実施根拠		スポーツ基本法					
直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民		
事業目的(～という状態にするために)	冬季(耐寒)スポーツの一環として実施し、健康増進と体力の向上及びランニングについての関心を高める。走る楽しさや喜びと共に地域融和の発展を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	駅伝大会の実施。 ・一般の部(5区間、21.00km)・高校の部(5区間、21.00km)・中学男子の部(8区間、21.00km) ・女子の部(5区間、12.35km)・オープン部の部(5区間、21.00km)									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	八街市ピーナッツ駅伝大会		回	1	1	1	1		
	事業の効果	八街市ピーナッツ駅伝大会参加者数		人	543	531	457	465		
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	冬季(耐寒)スポーツの一環として実施し、健康増進及び体力の向上とランニングについての関心を高め、地域融和の発展を図った。平成26年度において、第58回となっている。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	857	884	900	891			
	決算額			千円	849	834	847			
		特定・その他財源()		千円						
	一般財源		千円	849	834	847				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費(医師等謝礼)	65		役員費(保険料)	57				
		需用費(消耗品費)	205		自動車借上料	324				
		需用費(食糧費)	60		仮設トイレ・LED貸借*	136				

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生涯スポーツ推進に対し市民のニーズはたかまっており、参加者数の推移からも必要である。		A
	市の関与は妥当ですか	a	市主催の冬季最大の行事であり、平成26年度で58回となり妥当であると考ええる。		
有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成26年度で第58回の歴史があり、参加者数からも有効である。		A
効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討し、実施を行っている。平成21年度にコース・区間の変更を行い、安全性、効率性を高めてきている。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	5部門に分け募集を行い、それぞれの体力に見合うコース・区間設定を行っており、公平性に問題はない。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	毎年度、前回の反省点を検証し次回大会を実施し今日に至っている。今後、さらに市民のニーズに応じていく。		B A

Action 今後の事務事業の方向

26年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報やホームページ等によりPRを実施。また、八街の特産品の落花生とキャロットジュースのPRについても更なる検討をしていきたい。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	冬季スポーツ行事として最大のイベントであり、継続して実施していく。コース等の見直しなど、現状を把握し、各関係団体の協力を得て、一層の活性化を図ることが必要である。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名	印旛郡市民体育大会の開催(郡市民体育大会運営費)						部局等	教育委員会				
							課	スポーツ振興課				
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025		
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感ずる街									
		具体的施策										
	(八街市総合計画)	実施計画							開始	2005	終了	2009
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	スポーツ基本法				
直接の対象者(～に対して)	印旛郡市民						最終的な受益者	印旛郡市民				
事業目的(～という状態にするために)	印旛郡市民へのスポーツの普及と健康増進を図り、地域スポーツの振興発展と青少年の健全育成を図る。											
具体的な事業内容(～を行う)	印旛郡市8市町村、印旛郡市各市町教育委員会及び印旛郡市体育協会の主催で、郡市東西に分け、毎年開催されている。平成26年度八街市は、柔道(八街中武道場)と弓道(八街市スポーツプラザ)が会場となり開催。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等											
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)					
	事業の実績	印旛郡市民大会		回	1	1	1	1				
		事業の効果	印旛郡市民体育大会(八街市参加者)		人	298	327	277	300			
	事業効果に関する外部要因											
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		印旛郡市民へのスポーツの普及と健康増進を図り、地域スポーツの振興発展と青少年の健全育成を図った。平成26年度で第66回の歴史がある。									
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	461	23	83	50					
	決算額			千円	459	22	59					
		特定・その他財源()		千円								
	26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費(消耗品費)		31							
		需用費(食糧費)		6								
		備品		22								

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価		
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市の教育行政に対する市民のニーズは高くなっており、生涯スポーツ振興についても同様である。印旛郡市全域より集まる印旛郡市最大のスポーツ行事となっている。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	印旛郡市の応分の負担として妥当である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成26年度で第65回の歴史があり、参加者数からも成果がみられる。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討を行い次年度の実施を行い、効率性を高めてきている。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市体育協会各専門部等により、選考会等開催し推薦により、選手を決定している。公平性に問題はない。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	毎年度、前回の反省点を検証し次回の大会を実施し今日に至っている。今後、さらに印旛郡市民との振興を図っている。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

26年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報紙等によりPRに努める。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	印旛郡市民との交流を図り、体方向上とスポーツの普及を図るため継続して実施していかねばならないが、さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	学校施設のスポーツ開放(学校開放推進費)						部局等	教育委員会		
							課	スポーツ振興課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさをを感じる街							
(八街市総合計画)	具体的施策									
	実施計画					開始	2005	終了	2009	
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
	■ 直接実施 ■ 業務委託 □ 補助金交付 □ 負担金 □ その他 ()	実施根拠				スポーツ基本法・社会教育法 八街市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則				
直接の対象者(～に対して)	市民				最終的な受益者	市民				
事業目的(～という状態にするために)	八街市における社会体育の普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で市民の利用に供する。									
具体的な事業内容(～を行う)	市内小中学校の校庭、運動場、プールの一般開放を行い、施設の有効活用と市民の運動意識の高揚を図る。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	学校施設開放(屋内運動場)		施設	16	16	16	16		
		学校施設開放(屋外運動場)		施設	13	13	13	13		
		プール開放(八街北中学校、八街南中学校)		施設	2	2	2	2		
	事業の効果	学校開放利用者(屋内運動場)		人	197,065	187,032	178,098	172,000		
		学校開放利用者(屋外運動場)		人	45,700	34,033	37,375	42,784		
		プール開放利用者		人	4,512	2,175	2,393	1,100		
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		八街市における生涯スポーツの普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒及び一般市民の利用に供し、市民の運動意識高揚を図った。								
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	5,091	4,489	4,929	3,525			
	決算額			千円	5,041	4,468	4,818			
		特定・その他財源()		千円						
		一般財源		千円	5,041	4,468	4,818			
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費(委員、指導員報酬)	0 委託料		4,537					
		需用費(消耗品費)	30 賃借料		201					
		役務費(保険料)	50							

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価		
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の生涯スポーツの普及並びに幼児・児童の安全な遊び場確保のために市民のニーズは高い。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	市で管理する学校施設を有効利用するための開放であり、必要不可欠である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	市民の生涯スポーツに有効利用されており、現在飽和状態(待機あり)となっている。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	カギの長期貸出しを平成21年度から実施。また、管理については、平成25年度遊び場開放指導員の報償費廃止、更にプール開放については、引き続き入札を行って効率を図った。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	学校施設のスポーツ開放にあたっては、団体登録を行い、参加希望者がある場合、代表者を紹介(本人了解済の団体)するなどしている。また、プール開放については全市民を対象にしており、公平性は保たれている。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	現在、スポーツ開放については、飽和状態で待機待ちの状態であり、更に平成25～26年度において建替工事による利用停止など団体の利用箇所制限がされた。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

26年度における取組のPRと方向性	遊び場開放について、教頭会において「学校だより」による広報を依頼。今後においてもPRに努める。プール開放については現在、広報紙・ホームページやポスター等により市民に周知しておりますが、更に学校関係等にチラシを配付する等周知徹底する必要があります。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	学校施設のスポーツ開放、遊び場開放は市民のスポーツの振興及び意識の高揚のためにも継続して実施していかなければならないが、スポーツ開放について、飽和状態となっており、今後も利用状況を把握・整理し、効率を図ることが必要である。また、学校プール開放については、利用状況を精査し、効率のよい利用方法等を更に検討が必要である。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	体育施設の維持管理(体育施設維持管理費)						部局等	教育委員会		
							課	スポーツ振興課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策								
	(八街市総合計画)	実施計画					開始	2005	終了	2009
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方			
	現状値									
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	スポーツ基本法		
	直接の対象者(～に対して)	社会体育施設(市営運動場)					最終的な受益者	市民		
事業目的(～という状態にするために)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達及び生涯スポーツの推進に寄与する。									
具体的な事業内容(～を行う)	社会体育施設を維持管理し、安全に利用できるよう努める。 ・(市営運動場、ゲートボール場、グランドゴルフ場)									
Da 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	グラウンド等光熱水費		千円	4,838	4,692	4,909	4,834		
		グラウンド等土地賃借料		千円	4,839	14,443	14,406	14,411		
		グラウンド等施設保守管理委託料		千円	4,840	6,499	6,688	6,558		
	事業の効果	社会体育施設利用状況		人	88,818	92,141	76,711	80,000		
		(中央、東部、西部、南部、北部グラウンド、榎戸サッカー場)								
		社会体育施設使用料		千円	992	875	841	876		
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		社会体育施設を維持管理し、市民等が安全に利用できるよう努め、心身の健康と生涯スポーツの推進に寄与した。								
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	27,220	27,323	27,497	26,968			
	決算額			千円	27,221	26,949	27,061			
		特定・その他財源()		千円	27,222	875	841			
		一般財源		千円	27,223	26,074	26,220			
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費(消耗品)・原材料	180 役務費(し尿汲取手数料等)			215	備品 66			
		需用費(光熱水・燃料)	4,929 委託料			6,688				
		需用費(修繕料)	577 賃借料			14,406				

Check 事務事業の評価

区分	一次評価		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	社会体育施設管理の適正な維持管理は利用者の安全を保っている。
	市の関与は妥当ですか	a	社会体育施設の老朽化により、市の維持管理は不可欠である。	
有効性	期待された効果は得られていますか	a	市の社会体育施設であり、修繕等によりできる限り安全性を保持しているため有効である。	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	保守など委託契約については、入札等により業者の選定を図ることにより効率的に維持管理している。	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性・安全性を考慮し、順位を決め実施することにより公平に実施している。
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設管理等重要事項についてはスポーツ振興審議会会議に諮るなどして決定している。市民が安全に生涯スポーツを行っていただけるよう実施している。	
			A	A

Action 今後の事務事業の方向

26年度における取組のPRと方向性								
事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
	社会体育施設の維持管理は老朽化等により継続して実施していかなければならない。さらに状況を把握し、危険性及び緊急性から修繕等優先順位を決め、維持管理すると共に、コストのかかる物については、長期的に計画、要望していく必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	スポーツプラザ管理運営費						部局等	教育委員会		
							課	スポーツプラザ		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	実施計画	具体的施策	五の街 自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進							
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方			現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()	実施根拠		八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例						
		最終的な受益者		市民						
直接の対象者(～に対して)	市民									
事業目的(～という状態にするために)	施設の維持管理を適正に行い、利用者が安全にスポーツを楽しむ場を提供する。主として当施設の運営及び設備の維持・管理を適切に行うことによりスポーツ施設としての水準を維持することを目的とする。									
具体的な事業内容(～を行う)	体育館等各種施設の運営及び清掃・警備・施設の管理等の業務委託、老朽箇所の修繕等を行った。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	委託関係	千円	15,516	9,162	13,034	9,934			
		修繕関係	千円	725	473	633	508			
	事業の効果	施設の安全性を維持した								
		施設の老朽化によるサービス水準の低下を防止した								
		施設利用件数	件	7,738	7,324	7,807	7,623			
施設利用人数	人	106,469	111,814	104,841	107,708					
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		おおむねサービス提供はできている。しかしながら、経年劣化による大規模な修繕箇所が増加しており、将来的なサービス提供の低下は避けられないと考える。また、卓球台やバスケットゴール・トレーニング器具などの備品や、バレーボール・バドミントン等のネットなどの消耗品も劣化が著しいため、随時入替が必要である。								
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	31,179	24,274	28,566	25,072			
	決算額		千円	30,384	22,233	27,779	0			
		特定・その他財源()	千円	6,094	5,700	6,084				
		一般財源	千円	24,290	16,533	21,695				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	8,245							
		委託料	13,034							
		使用料及び賃借料	3,264							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	個人・団体からの問合せや予約も多いことから、市民からのニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	施設の規模や公共性の観点から市の関与は妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	各施設の利用状況については微増微減はあるものの、概ね成果は得られている。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	現在の状況を鑑みると、効率向上・コスト低減の余地はない。前述のとおり経年劣化が著しく、大規模修繕等が必須である。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	スポーツ振興に寄与する施設として、効率的な施設の維持管理を実施している		A	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	26年度における取組のPRと方向性					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
現在は部分的な改修に留まっているが、竣工後20年以上経過しているため大規模な修繕が必要であり、それにより将来的な維持管理費の抑制が計られる。 また、各種競技等に使用する備品関係においても、随時入替を行い、良好なサービス提供を図っていく。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	スポーツプラザ整備事業費							部局等	教育委員会	
								課	スポーツプラザ	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	五の街 自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進							
	(八街市総合計画)	実施計画			開始	2005	終了	2009		
① 事務事業の概要	実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()	実施根拠		八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例					
	直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民	
	事業目的(～という状態にするために)	主として社会体育施設としての水準を維持するために必要な改修等を行うことを目的とする。								
	具体的な事業内容(～を行う)	スポーツプラザ入口に設置している高圧気中開閉器(PAS)及び高圧ケーブルの交換を行った。体育館内に設置している自動火災報知器(2種)の全交換(熱感知器:49個、煙感知器:15個、空気管感知器:18個)を行った。								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当								
		不該当								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
		スポーツプラザ高圧引込設備改修工事	千円			3,456				
	スポーツプラザ体育館自動火災報知設備改修工事	千円			126					
	事業の効果	施設の安全性を維持した								
		施設の老朽化によるサービス水準の低下を防止した								
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	東京電力からの引込部を改修したことにより、地絡事故時等に周辺家屋への波及を防げる事となった。また、火災等発生時、いち早く利用者に周知でき避難・誘導を円滑に行う事ができ、安全面の機能は良好になった。但し、体育館本体及びびねスコート(1～5番コート)・多目的広場が手つかずとなっているため、今後の財政状況を鑑みながら定期的な改修が必要であると判断する。									
④ 事業コスト	区分	単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額	千円			18,851	4,936	985			
	決算額	千円			18,267	4,742				
		特定・その他財源()	千円			17,775				
	一般財源	千円			492	4,742				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	工事請負費 4,742									

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価		
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	経年劣化も激しいことから、市民のニーズは高い。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	施設の規模や公共性の観点から市の関与は妥当である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	b	おおむね効果は得られている。		B	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	入札による工事請負のため、効率化は図られていると考える。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	A		
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	スポーツ振興に寄与する施設として、安全で効率的な施設の維持管理を実施している		A	A

Action 今後の事務事業の方向

26年度における取組のPRと方向性							
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	施工後20年以上経過しているため、大規模な修繕箇所が多々あり、財政状況を踏まえながら定期的な改修が必要であると判断する。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名	中央公民館管理運営費					部局等	教育委員会	
						課	中央公民館	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた		開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街					
(八街市総合計画)	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進						
	実施計画	社会教育活動の推進	開始	2010	終了	2015		
実施方法	「めぞう！ね(値)」	指標	公民館講座参加人数	生涯学習への関心の高さや公民館講座の魅力度を見ます。	めぞう値(目標設定)の考え	700人(3,000人)	現状値	568(2,291)
	■ 直接実施 □ 業務委託 □ 補助金交付 □ 負担金 □ その他 ()	実施根拠	社会教育法					
直接の対象者(〜に対して)	市民					最終的な受益者	市民	
事業目的(〜という状態にするために)	学術及び文化に関する各種講座、こうみんかん祭等の事業を行い、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。							
具体的な事業内容(〜を行う)	学術及び文化に関する各種講座等、こうみんかん祭、ひまわり絵画展の開催。公民館運営審議会において事業の企画実施等につき調査審議。							
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目						
	施設の老朽化が著しく、市民から備品等の整備要望が出ている。							
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)	
	事業の実績	1	学術及び文化に関する各種講座の開催	回	28	22	23	17
		2	こうみんかん祭	回	1	1	1	1
		3	ひまわり絵画展	回		1	1	1
	事業の効果	1	主催事業参加人数(延べ人数)	人	2,609	2,563	2,291	2,000
		2	来館者数	人	3,982	4,321	5,114	4,800
		3	出展者数	人		771	757	800
	事業効果に関する外部要因							
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		各種講座の開催により、社会教育の推進という施策の実現に有効な手段となっている。単なる知識学習だけでなく参加者間のコミュニケーションや人間関係を深めることが出来た。					
	④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)
(最終)予算額		千円	20,119	17,995	20,134	18,431		
決算額				千円	20,119	17,562	19,509	0
		特定・その他財源(使用料)		千円	2,769	2,476	2,654	
		一般財源		千円	17,350	15,086	16,855	
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	709					
		需用費	8,615					
		委託料	7,180					

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業の評価	区分	一次評価	判定理由		二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内唯一の公民館として実際の生活に即する各種事業を行い、日常生活に密着した総合的な社会教育施設として必要不可欠である。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育法で公民館で各種事業を行うことを推奨している。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	すべての市民を対象としているため効果はあると思われる。各種講座時のアンケート結果では、受講者の満足度は高く、期待された効果は得られている。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	公民館は単なる知識学習だけでなく参加者間のコミュニケーションや人間関係を深めて行く事が出来る。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	公民館運営審議会上に諮り講座を開催しており、材料費等について受益者負担としているため適切である。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学びを通じた住民相互の出会いと交流、連携を促進し地域社会のコミュニケーションを図る。また、今後とも主催事業のPRを積極的に行い市民のニーズに応えた各種事業を実施する。		A A	
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	27年度における取組のPRと方向性	主催講座開催時にアンケート調査を実施し市民の社会教育に対するニーズを把握する。市民からの要望やアンケート結果、社会情勢等を考慮しながら次年度の各種事業を計画し、多くの市民が参加できるような事業展開を行っていく。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		生涯学習活動の場を提供し、教育・文化活動を展開するのは公民館の重要な役割である。今後もより市民のニーズや時代にあった主催事業を展開するとともに、公民館を地域づくりの拠点となるような事業の展開を図っていく必要がある。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名	中央公民館整備事業費					部局等	教育委員会	
						課	中央公民館	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた		開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					
	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進						
	(八街市総合計画)	実施計画	社会教育活動の推進		開始	2010	終了	2015
	「めぞう！ね(値)」	指標	めぞうね(目標設定)の考え方		現状値			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	社会教育法		
直接の対象者(〜に対して)	市民				最終的な受益者	市民		
事業目的(〜という状態にするために)	社会教育・生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている中央公民館を、市民が安全に安心して利用できるようにするために施設の計画的な改修を行う。							
具体的な事業内容(〜を行う)	南棟男子トイレ取替工事を行う。							
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	施設の老朽化が著しく、市民から備品等の整備要望が出ている。					
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)	
	事業の実績	1	南棟男子トイレ取替工事	回			1	
		2		回				
		3		回				
	事業の効果	1	工期	月			1	
		2		月				
		3		月				
	事業効果に関する外部要因							
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		工事に伴う設計・監理・工事の事務手続きを迅速に行い、利用者・市行事にできる限り影響が少ない期間で工事を完成することができた。					
	④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)
(最終)予算額		千円	5,377	18,676	864	482		
決算額				千円	5,187	18,661	864	0
		特定・その他財源(使用料)	千円		9,442			
一般財源		千円	5,187	9,219	864			
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		工事請負費	864					

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内唯一の公民館として市民の生活文化振興上、必要不可欠である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育法で公民館を設置し、市民への生涯学習の場を提供し、社会教育事業を行う団体を支援することが規定されている。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	公民館は、市民の生活文化振興上、必要不可欠であり施設の早期改修・計画的な改修は最も有効な手段である。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	施設の老朽化は進み、工事・修繕等のコストを押し上げる傾向があるので、効率的な運営による努力が必要。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	整備事業については、その効果を考慮しなければならず、コスト削減は難しい状況にある。老朽化した施設補修に関し必要最低限になるよう検討を行い実施している。	B
総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	中央公民館は、開館から35年余り経過し、施設改修費等、今後数年間は多大な財源が必要となる。また、公民館にかわる文化施設が市内に無いことから、改修に伴う施設の休館等で市民の文化活動にも影響が出る恐れがある。		B B	

Action 今後の事務事業の方向

⑥	27年度における取組のPRと方向性	市民が公民館を安全に安心して利用していただくための環境整備とサービスの提供を確保する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		開館から35年余り経過し施設設備の老朽化が著しく早期の改修が望ましいことから事業を拡充していく必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	図書館管理運営費(臨時職員の雇用、施設等の維持管理)						部局等	教育委員会			
							課	図書館			
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進								
		実施計画	社会教育活動の推進						開始	2010	終了
②市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例・八街市立図書館の管理及び運営に関する規則				
	直接の対象者(〜に対して)	市民及び市内在勤・在学者				最終的な受益者	市民及び市内在勤・在学者				
	事業目的(〜という状態にするために)	市民が利用しやすい図書館としての環境整備・維持管理									
③実績・成果	具体的な事業内容(〜を行う)	・臨時職員の雇用：図書装架、配架、返却などの事務補助 ・業務委託：清掃、警備、電気工作物保安管理、消防設備保守点検、空調設備保守点検業務など ・機器の賃借、使用：複写機、トイレ洗浄・静除システムの賃借、書誌データなどの使用 ・施設、設備等の修繕 ・図書館協議会									
	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	事業の実績	1	臨時職員雇用人数：通常6名、夏季1名・蔵書点検時2名増	人	9	9	10	10			
		2	各種業務委託件数	件	10	10	11	10			
		3	各機器等の賃借・使用件数	件	6	5	5	5			
		4	施設、設備の修繕件数	件	8	0	11	-			
		5	図書館協議会	回	2	2	2	2			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)	臨時職員の雇用や施設、設備の維持管理などにより、安心・安全な環境のもとで、利用者に対して迅速なサービスを提供することができた。										
④事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	33,770	31,921	28,278	27,130				
	決算額	特定・その他財源()	千円	33,486	31,782	28,083	0				
		一般財源	千円	33,486	31,782	28,083	0				
	26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		臨時職員賃金	5,790	管理運営用備品	0					
		業務委託料	11,392	図書館協議会委員報酬	61						
		使用料・賃借料	1,503	その他	9,337						

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価		
⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	図書館サービスの提供にあたっては、安全・安心な環境の中で、迅速に対応できるよう求められている。	A	
		市の関与は妥当ですか	a	市が直接関与するよう法律や条例で定められた公共施設であり妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	図書館運営について、概ね期待通りの成果を得られている。	B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	限られた事業費の中で最大限の成果を得るために、維持管理に努めているが、行き過ぎた節減により読書環境や事務環境に悪影響が無いよう配慮している。図書館システム更新を期に事務環境、業務プロセスの面に注力し、効率性の更なる向上を図る。	A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公平性に関する問題はないが、その財源に係る経費の適切な負担の在り方の観点から、サービスを受ける者に一定の負担を求めることが必要となる可能性も予想される。対価不徴収の原則を維持しつつ、一定の場合に受益者の負担を求めることについて、その適否を検討する必要がある。	B
総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	生涯学習の場として、安心・安全な環境のもと、利用者の視点でたったなサービスを提供した。	A	A	

Action 今後の事務事業の方向

⑥	25年度における取組のPRと方向性	今年度も適切な環境整備と利用者に対する迅速なサービスの提供を確保する。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 経年劣化に伴い修繕箇所が多くなると思われるが財政状況を考慮して、今後も図書館としての環境整備の維持、継続に努めるとともに、すべての市民が等しく図書館サービスを受けられるよう生涯学習施設の環境の充実を図る。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	図書館管理運営費(資料収集、読書の普及、利用促進)							部局等	教育委員会	
								課	図書館	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進							
		実施計画	社会教育活動の推進					開始	2010	終了
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()	「めぞう！ね(値)」	指標	①1人あたり図書貸出冊数 ②図書館蔵書冊数	指標の内容	図書館に対する市民ニーズや自ら進んで学習活動をしているかを見ます。	めぞう値(目標設定)の考え方	①5.20冊 ②325,000冊	現状値	①4.72冊 ②308,475冊
		<input type="checkbox"/> 実施根拠 図書館法・八街市立図書館設置条例・八街市立図書館の管理及び運営に関する規則	<input type="checkbox"/> 最終的な受益者 市民及び市内在勤在学者							
直接の対象者(〜に対して)	市民及び市内在勤在学者							最終的な受益者	市民及び市内在勤在学者	
事業目的(〜という状態にするために)	地域の情報拠点として、市民誰もが等しく図書館サービスを受けることができる事業の展開により、読書活動の推進を図る。									
具体的な事業内容(〜を行う)	地域の実情及び、利用者の要望を考慮しながら、計画的に資料収集・整理・保存を行い市民に提供する。また、市民の求める資料を探し出すための援助や調査研究の援助を行うことにより、市民の自主的な学習活動を支援する。図書館に来館しにくい地域に居住する高齢者や乳幼児を持つ親子のために移動図書館事業を行う。また、おはなし会・映画会などの各種集會事業を実施するとともに、地域の団体や学校等の求めに応じ司書を派遣し読書推進活動を支援する。									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
	開館時間や資料の充実等に関する要望・意見がある。									
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	1	図書購入冊数	冊	8,145	6,845	6,627	7,000		
		2	おはなし会の開催数	回	81	76	73	70		
		3	講座、映画会の開催数	回	107	108	113	110		
		4	図書館ホームページの更新数	回	84	96	41	50		
	事業の効果	1	図書貸出冊数	冊	369,331	342,841	331,414	335,000		
		2	おはなし会の参加者数	人	1,005	1,051	849	850		
		3	講座、映画会の参加者数	人	1,424	1,466	1,373	1,400		
		4	司書派遣事業参加者数	人	1810	2,140	1,709	1,750		
		5	図書館ホームページの閲覧数	回	61,111	50,181	59,079	60,000		
事業効果に関する外部要因	24、25年の司書派遣事業参加者数には、他自治体からの要請による読書推進活動が含まれる。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	日常の図書館サービスに留まらず、市民や地域に向き合い、「図書館は本の好きな人が本を借りに行くところ」から「図書館は問題解決のヒントがあり役に立つところ」へと市民の認識が広がるようPRに努めた。朝日新聞やフジテレビ、NHKFMラジオで図書館の取り組みが紹介され、市民からも好評であった。									
④ 事業コスト	(最終)予算額		千円	15,597	11,912	11,918	11,876			
	決算額	特定・その他財源()	千円	15,546	11,909	11,918				
		一般財源	千円	15,546	11,909	11,918				
	26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	貸出用図書購入費	10,347	図書館消耗品	1,331					
	報償費	0	食料費	4						
	旅費	29	通信運搬費(判例体系)	207						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	図書館は、市民の読書・情報・学習の拠点として、誰もが気軽に利用でき、市民の暮らしに役立つように、多様なサービスを展開しており、市民からのニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	これからの社会は知識基盤社会であり、市民の生涯学習を支える拠点としての図書館の役割は重要性を増しており、市の関与は妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	地域の課題解決に対応するために、司書が地域や学校に出向くことにより、読書活動の推進に努めた。子育て支援を中心に、乳幼児期からの家族での読書習慣の形成や学校への読書支援に寄与できた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	経費の節減に努めるとともに、効率的な執行を図っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない(図書館法第17条)	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	図書館が地域や市民にどのように貢献できるのか、どうしたら役に立つ図書館になれるのか、検討を重ねながらサービスを展開してきた。児童生徒の読書習慣の形成に寄与するため、読書環境の整備に努めるとともに、図書館に来館しにくい地区に移動図書館のステーションを増設する準備を整えた。運行年数が20年を経過しているため今後の動向について、引き続き検討が必要である。		A A	
⑥	27年度における取組のPRと方向性	移動図書館のステーションを3カ所増設し、図書館に来館しにくい地区の高齢者や乳幼児を持つ家庭の利用促進をPRする。また、図書館サービスを受ける利用から、参加していく利用をめざす。具体的には、小中学校の司書教諭と連携を図りながら、児童・生徒(主にジュニア司書や図書委員)への利用教育支援や高等学校との連携を深め、図書館サポーターとしての関わりを通して、若い世代を図書館に取り込み、次世代の利用者を育成する。				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 </p> <p>図書館は、市民の知る権利を保障する重要な社会的基盤として位置づけられており、生涯学習を進める上で、重要な施設である。今後、電算システムのバージョンアップを控えているため、現行システムからさらに効率的で、市民の利便性を向上させるシステム構築に取り組んで行く。また、読書推進活動に関心のある学校や市民とともに市全体の読書環境の向上に努める。</p>				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	視聴覚教材センター管理運営							部局等	教育委員会	
								課	視聴覚教材センター	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	具体的施策									
	実施計画				開始	2010	終了	2012		
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	■ 直接実施 □ 業務委託 □ 補助金交付 □ 負担金 □ その他 ()	実施根拠		地方教育行政の組織及び運営に関する法律 視聴覚教材センター設置条例及び運営規則						
直接の対象者(～に対して)	市民・教職員関係者・青少年相談員・団体関係者など						最終的な受益者	市民		
事業目的(～という状態にするために)	視聴覚教育を推進し、学校教育及び社会教育を充実し、市民の文化向上を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材センター委員会議の開催 ・視聴覚教材目録の作成 ・機材・教材の維持管理 									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	視聴覚教材センター委員会議	回	2	2	2	2			
		視聴覚教材目録の作成	回	2	1	1	1			
	事業の効果									
	事業効果に関する外部要因									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		視聴覚機材・教材の維持管理、貸出、目録作成等により視聴覚教育の推進を図れた。								
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	135	76	76	76			
	決算額			千円	135	76	76	76		
		特定・その他財源()	千円							
	一般財源	千円	135	76	76	76				
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	16							
		需用費	59							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか		b	特に、学校、官公署、各種団体からのニーズは高いため。	
市の関与は妥当ですか		b	市所有の機材・教材であるため。			
有効性	期待された効果は得られていますか		b	視聴覚教材・機材については、ほぼ期待どおりの貸出効果であるため。		B
効率性	事業の効率性を高められますか		b	事務事業の見直し、改善により経費の削減に努めているため。		B
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市全体の教育活動の場で反映されており、公平性に問題は無い。	B
総合評価	総括及び事業実施上の課題		b	事業の必要性は認められるが、管理運営に関し引き続き検討を要する。		B B
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	新たに整備する機材及び教材を精査し、ひきつづき魅力ある視聴覚機材及び教材の貸出及び管理運営に努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校教育及び社会教育に関し、視聴覚機材及び教材活用の必要性は認められるが、当該機材及び教材の貸出及び維持管理が主要事業であり、図書館との統合を図るため視聴覚教材センターの管理運営についての見直しが必要と思われる。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	視聴覚教材整備						部局等	教育委員会		
							課	視聴覚教材センター		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	具体的施策									
	実施計画					開始	2010	終了	2012	
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	教材利用回数	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方	20の増を目標	現状値	183		
	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()	実施根拠		地方教育行政の組織及び運営に関する法律 視聴覚教材センター設置条例及び運営規則						
直接の対象者(～に対して)	機材・教材の各種団体への貸出					最終的な受益者	市民			
事業目的(～という状態にするために)	視聴覚教育を推進し、学校教育及び社会教育を充実し、市民の文化向上を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	視聴覚機材・教材を購入整備して、各種団体に対して、貸出を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	機材の購入	台	1	0	0	0			
		教材の購入	本	12	11	11	10			
	事業の効果	機材貸出件数	件	718	631	663	663			
		教材貸出件数	件	98	99	104	104			
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		視聴覚機材及び教材の活用により、学校、官公署、各種団体をとおして学校教育及び社会教育の内容をさらに充実させることに役立ることができた。							
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	678	360	360	360			
	決算額			千円	677	360	360	360		
		特定・その他財源()	千円							
	一般財源		千円	677	360	360	360			
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		備品購入費		360						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	b	特に、学校、官公署、各種団体からのニーズは高いため。		B
		市の関与は妥当ですか	b	市所有の機材・教材であるため。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	視聴覚教材・機材については、ほぼ期待どおりの貸出効果であるため。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	要望や意見・実績等を踏まえた、機材・教材の整備、貸出に努めている。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市全体の教育活動の場で反映されており、公平性に問題はない。	B
総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	既存の機材・教材の有効活用を図りつつ、利用団体等の要望を踏まえた、新たな教材等の購入ができた。		B B	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	今年度も、予算の範囲内において、有効に活用できる教材の購入をする。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		既存の機材・教材の有効活用を図りつつ、それぞれの年度、近況にあった新たな教材の確保をする。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	学校給食センター一般管理事業費						部局等	教育委員会		
							課	学校給食センター		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策								
	(八街市総合計画)	実施計画			開始	2010	終了	2012		
		「めぞそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めぞそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則 八街市学校給食費徴収規則			
	直接の対象者(〜に対して)	・幼稚園、小学校、中学校				最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者			
	事業目的(〜という状態にするために)	・園児、児童、生徒に安定した給食を供給するため								
	具体的な事業内容(〜を行う)	・給食センター運営委員会の開催 ・給食事業に係る臨時職員の雇用等 ・給食費収納管理システムの活用								
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	事業の実績	1	報酬(給食センター運営委員)	千円	0	35	0	61		
		2	臨時職員賃金等	千円	7,914	7,839	7,024	7,209		
		3	給食費収納管理用システム経費	千円	742	441	447	455		
	事業の効果	1	運営委員会開催数	回	0	3	0	2		
		2	臨時調理員数	人数	6	6	5	6		
		3	収納率の向上	パーセント	97.07	96.59		99		
		4								
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		・給食費収納業務の一元化により、業務が円滑となり、事務の簡素化が図られた ・臨時職員を適正に雇用することで、安全で安心な給食を配食することができた							
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	14,658	13,084	12,837	11,638			
	決算額			千円	13,093	12,288	10,747			
		特定・その他財源()	千円	223	235	228				
		一般財源	千円	12,870	12,053	10,519				
	26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賃金等	7,024						
		給食費収納管理システム等	447							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分	一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・運営委員会は給食センター運営に係る重要事項の審議のため必要不可欠		A
		市の関与は妥当ですか	a	・運営委員会は条例等に基づき重要事項を審議する機関として機能している ・給食事業は市が実施する事業である		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・運営委員はセンター運営に精通している学校長、PTA、学識経験者がメンバー ・給食費収納業務の一元化により業務が円滑となる		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	・第二調理場の民間委託についても今後検討 ・給食費収納業務の一元化により業務が円滑となる		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	給食費の未納解消による公平性の確保を図る	B
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a			A A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	・平成26年度の実績を踏まえ、27年度においても、給食費収納業務が円滑に運営されることが見込まれる ・学校給食の調理、配食業務が円滑となるよう、適正な臨時調理員の雇用を図る				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・給食費収納管理システムを活用した業務の一元化により、今後もより一層の未納対策を進める ・第二調理場の民間委託についても、人件費等を比較検討しながら総合的に判断する				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名	学校給食センター調理場維持管理事業費					部局等	教育委員会	
						課	学校給食センター	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた	開始年度	2005	終了年度	2025	
	(八街市総合計画)	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					
実施方法	具体的施策							
	実施計画	開始	2010	終了	2012			
実施方法	「めぞう！ね(値)」指標	指標の内容	めぞそう値(目標設定)の考え方				現状値	
	■ 直接実施 ■ 業務委託 □ 補助金交付 □ 負担金 □ その他 ()	実施根拠	学校給食法 八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則					
直接の対象者(～に対して)						最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者	
事業目的(～という状態にするために)	・給食の円滑かつ安定的な供給を図るために、給食センターの施設、設備等を良好な状態に保つ							
具体的な事業内容(～を行う)	・給食センターの施設、設備等の適切な維持管理を行う							
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目						
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)	
	事業の実績	1	修繕費	千円	3,592	2,982	3,874	2,500
		2	委託料	千円	12,368	11,059	11,466	13,910
		3	工事請負費	千円	5,197	6,333	0	2,200
	事業の効果	1	施設、設備の修繕					
		2	施設、設備の維持管理委託					
		3						
		4						
	事業効果に関する外部要因							
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		・施設、設備等を適切に維持管理し、学校給食業務を円滑に運営することができた ・当初予算で計上していた有機物高速醗酵処理機の改修工事については、コストの削減を検討した結果、平成27年度より食品の残さい等の処理方法を外部委託とする予定となり、工事を取り止めた					
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	25,055	23,725	17,787	19,491	
	決算額			千円	22,259	21,157	16,113	
		特定・その他財源()	千円		5,300			
		一般財源	千円	22,259	15,857	16,113		
26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		修繕費	3,874					
		委託料	11,466					

Check 事務事業の評価								
区分	一次評価	判定理由			二次評価			
		必要性	a	・学校給食業務を円滑に運営するためには、施設、設備等の適切な維持管理が必要不可欠			A	
	a	・学校給食法に基づき市が実施する事業であり、限られた予算の範囲で優先順位を定め対応している						
有効性	a	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保ち安定的な給食の供給ができた			A			
効率性	b	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つと同時にコスト面も考慮している			B			
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	・給食の調理に要する費用(賄材料費は除く)は、全て市の負担となっていることから公平性に問題はない		B			
総合評価	a	総括及び事業実施上の課題			B	B		
Action 今後の事務事業の方向								
⑥	27年度における取組のPRと方向性	・給食センターの施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つことにより安全で安心な学校給食の調理及び配食を行う ・平成27年度より、食品の残さい等は外部委託により処理され、家畜の餌(豚の液状醗酵飼料)として再利用される						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了						
		・施設、設備等の老朽化が進み適切な維持管理を図るためには、計画的な改修が必要となりコスト増が考えられる						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名	学校給食センター調理場給食事業費					部局等	教育委員会	
						課	学校給食センター	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた		開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					
		具体的施策						
	(八街市総合計画)	実施計画			開始	2010	終了	2012
		「めぞそう！ね(値)」	指標	指標の内容		めぞそう値(目標設定)の考え方		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (給食費)				実施根拠	学校給食法 八街市学校給食費徴収規則	
	直接の対象者(～に対して)	・学校給食を受ける園児、児童生徒				最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者	
	事業目的(～という状態にするために)	・学校給食事業は児童生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることを目的としている						
	具体的な事業内容(～を行う)	・市内13小中学校並びに市内3幼稚園への給食を供給						
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目					
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)	
	事業の実績	1	消耗品費等	千円	47,692	46,970	46,726	49,715
		2	賄い材料費	千円	325,769	313,880	312,627	299,450
		3	委託料	千円	109,574	107,582,360	108,392	109,253
	事業の効果	1	給食配食数/日(小・中学校)	人	6,342	6,082	5,881	5,730
		2	給食配食数/日(幼稚園)	人	370	336	319	327
		3						
		4						
	事業効果に関する外部要因	・第一調理場(調理業務)を平成20年度より民間委託している(平成26年8月より3カ年契約)						
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	・安全で安心な学校給食を円滑に配食することができた						
④ 事業コスト	区分		単位	24年度	25年度	26年度	27年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	487,456	477,205	477,906	460,434	
	決算額		千円	485,732	470,692	470,441		
		特定・その他財源()	千円	324,910	310,769			
		一般財源	千円	160,822	159,923			
	26年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賄い材料費	312,627				
		委託料	108,392					
		備品購入費	1,458					

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・学校給食事業は児童生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることなどを目的としている		A
		市の関与は妥当ですか	a	・配食日数や配食内容等適切に供給している		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・児童生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることができた		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	・材料の選定や献立の工夫等により給食内容の充実が図られており、現状でのコスト削減は難しい		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	・保護者より賄い材料費を給食費として徴収しているが、未納者が多い	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a			A	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	27年度における取組のPRと方向性	・給食費は賄材料費に全額充当しているが、未納者がまだまだ多いことから一層の未納対策を進める ・食材や燃料等の高騰の懸念もあることから、材料の選定や献立の工夫等により、給食内容の充実を図る ・第一調理場の調理業務については、引き続き民間委託を実施し円滑な運用を図る(平成29年7月までの3カ年契約)				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		・平成20年度より、引き続き第一調理場については民間委託(調理業務)となっているが、第二調理場についても人件費等を比較検討しながら、総合的に判断し今後の方向性を考える				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

学校評価の部

学校評価の考察方法

平成26年度に学校が行った学校評価は、内部評価、外部評価を実施しているが、学校毎に調査方法、質問事項、まとめ方も異なっていることから、このうち保護者を対象としたアンケート調査の結果のうち、本年度も、県のみんなで取り組む『教育立県千葉』プラン(千葉県教育振興基本計画)に数値目標が掲げられている、次の3項目に関する結果を抜粋し検証することとした。

なお、評価項目については、A. B. C. Dの4段階評価を採用している。また、評価結果は最終実施(H27年. 2月)または、2学期末のものを記載することとした。

- ① 子どもの様子(規範意識や協調性)に関する項目
- ② 学習指導に関する項目
- ③ 家庭・学校・地域が連携して子どもを育てる環境に関する項目

◎ みんなで取り組む『教育立県千葉』プラン(千葉県教育振興基本計画)に数値目標

項 目	(H20年度)	目 標 (H26年度)
① 「子どもの様子(規範意識や協調性)」に関する項目について、「満足」「おおむね満足」と回答した保護者の割合目標数値(「満足」及び「おおむね満足」と回答した保護者の割合)	84.1%	85.0%
② 「学習指導」に関する項目について、「満足」「おおむね満足」と回答した保護者の割合目標数値(「満足」及び「おおむね満足」と回答した保護者の割合)	79.0%	85.0%
③ 「学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる環境が整っている」ことに関する項目について、「満足」「おおむね満足」と回答した保護者の割合目標数値(「満足」及び「おおむね満足」と回答した保護者の割合)	82.0%	85.0%

評価コメント

二次評価(教育委員)の意見等

- ・幼稚園は3園とも回答率が非常に高く、また、3項目とも県数値目標を大きく上回っていることから、安定した園運営ぶりが伺えます。小学校は昨年度に比べ回答率が下がり、また3項目とも県目標数値を上回りましたが、肯定的な回答率が低下したことが気になります。中学校は、県数値目標の達成に3項目ともまだ厳しい状況ですが、今後も達成を目指して努力を続けられてください。
- ・幼稚園への評価は全体として県平均より高く、また、ほとんどの項目がH25年度より評価が上昇している。幼児教育についての保護者の願いを反映した園経営に努力した成果ではないでしょうか。
小学校への評価は、肯定的回答がほぼ85%であり、県の目標値に近い数値となっている。しかし、H25年度と比較すると、各項目とも3～5ぱーせんと減少となっている。学校訪問時の子どもたちの様子は、年々向上している。保護者への情報発信をより積極的に行うことで、保護者との信頼関係が強まり、評価が上がってくるのではと思います。
- ・特に気になるのが、中学校に(－)がへ多く否定的な意見が多いことです。「学校への感心が薄い」が学力には関心がある。」これらは、学校・地域・家庭の連携に結びつけていけば、(＋)に転じてくるのではと思います。学力の向上にもよい方向に向いて行くと思われませんが。
- ・人間関係が希薄になっている中、子育てに悩む親は増え、それをどこに相談したらよいかわからない人がいると思います。アンケートの中でも、学校に相談しにくいと答えている状況を問題視し、何らかの方法で解決していかなければならないと思います。当市でもナチュラル電話相談窓口がありますが、周知されていないように思えます。市ホームページや学校配信メール当のSNSを利用することも必要だと思います。(実際、学校からの発行文書が親の手元に届いていない話しは良く聞きますので。)
- ・長欠対策、学力向上が喫緊の課題であることに変わりはありません。各校とも、この2つの課題に対して真摯に、そして工夫を凝らして努力をしています。しかし、なかなか大きな成果が得られない要因として、家庭の理解・協力が得られないことがあります。地域・家庭の教育力をあげる方策を、市全体として考える必要があると考えます。

三次評価(総合評価)の意見等

- ・学校評価に対する意見は、一市民である為に控えたい。
只一つ、入学式、卒業式等で、気がつくのは、式典の時の校長先生の姿が暗くて見えない。もっと照明を工夫してもらいたい。
- ・これも論外であると思うが、市の花ひまわりは、後所におなさけ程度あるだけでは、余りにも希薄の感がある。
小中学校でも、もっと意識して多くのひまわりを植えたらと思う。
- ・ピーナッツ駅伝も同じ。ピーナッツを銘打ってやるからには、ピーナッツに因んだ何かを考えて欲しい。
富里のスイカロードの様に!!
- ・各園・学校とも様々な工夫を通して保護者・地域との連携をもとに経営を進めようとしています。結果、受動的な評価となっています。
- ・幼-小-中連携項目アンケートの積み重ねから新たな項目(問題)が導き出せないでしょうか？
- ・評価項目の具体化、抽出化、細分化、問題の視点
(例)学校が好きですか？→学校の何が好きですか？→どうしてそれが好きですか？
- ・いじめ問題に関するアンケート 児童生徒、保護者に実施し、いじめ問題を学校・地域・保護者で捉える。
－問題の公開化
- ・教育に関してその意識に世代間格差が存在する。同じ設問を、児童生徒、保護者、祖父母(お年寄り)に答えてもらう。

評価結果の考察

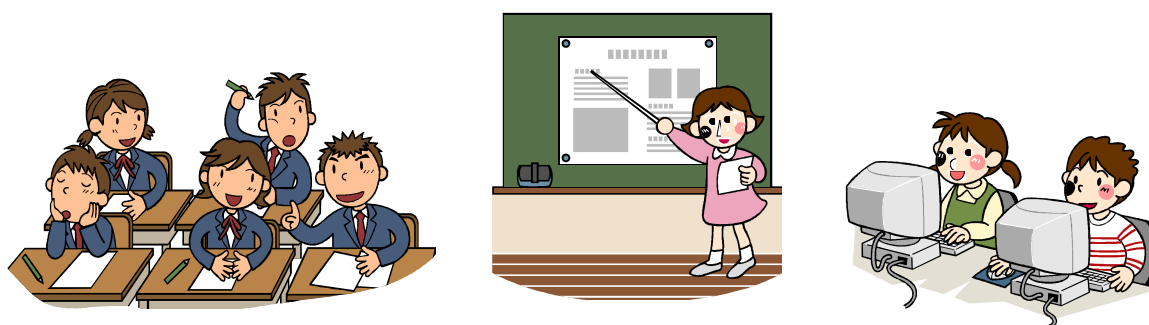
① 子どもの様子(規範意識や協調性)に関する項目

幼稚園	<p>共通した質問事項として、 〈保育の様子が家庭に伝わってきましたか。〉 の質問に対して、園に対するプラス評価は、96.3%と高い評価を受けており、安定した園の運営が、各家庭に伝わっているものと判断される。</p>
小学校	<p>主な質問項目として、 ①社会や日常のルールを守る姿勢 ②学校や学級の中でのよい友達の存在 ③挨拶、返事、言葉遣いなどの生活習慣 ④家庭学習の習慣</p> <p>など、子どもの様子から質問したものと、一部教師の指導の面からの質問事項がされている。結果は85%比較した場合、プラスとマイナスが混在しており、全体としては概ね85%程度であった。 一概に学校間比較はできないが、「返事・挨拶ができる」の質問に対しての肯定的回答率が低く、人間形成の基本であるので、指導の共通理解、共通実践、また継続指導の徹底に一層の努力を望むところである。</p>
中学校	<p>質問項目としては、 ①学校生活での充実度 ②基本的な学習習慣 ③社会や日常のルール(返事、挨拶)</p> <p>など、子どもの質問事項がされている。 結果は、ややばらつきがあるが、プラス評価は平均で81%程度で、全体的にはやや低い評価となっている。 特に「学校生活の様子を家庭内で話しをする」ということに対して、肯定的回答率が低い結果となっている。 小学校に比べ回答率が低く、また小学校と質問内容が異なるため、学校間比較はできないが、小学校よりプラス評価率が下降傾向を示しており、生徒指導の強化や取り組み、保護者と一体となった指導が必要とされていると思われる。 さらに、人を思いやる気持ちの希薄化がいじめ問題に発展する根底の一つであると考えられることから、家庭や地域との連携を更に図りながら、指導を行っていく必要性が示唆されている結果と思われる。</p>



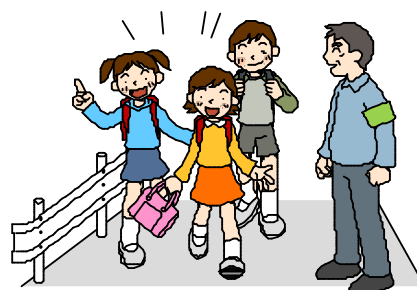
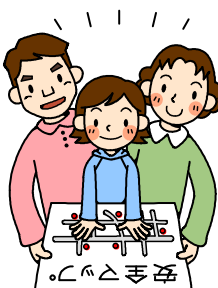
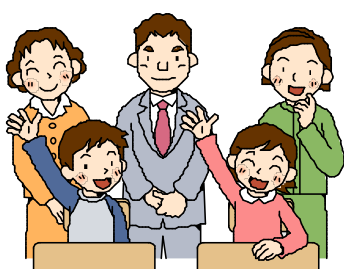
② 学習指導に関する項目

幼稚園	<p>共通した質問事項として、 <教師は、子どもの様子を把握し、適切な援助をしてくださいましたか> の質問に対して、プラス評価は、すべて園で非常に高い評価を受けている。(3園の平均:93%) 幼稚園では、園児一人一人の状況を把握し、一人一人に対応した、保護者のニーズにあった援助がなされた結果と考えられる。</p>
小学校	<p>質問事項としては、 ①学習日課の工夫 ②基礎基本や思考力、表現力などの学力の育成 ③学年にふさわしい学力の定着度 ④授業の工夫、わかる授業 ⑤教師の取り組みの様子 などがある。 結果はプラス評価が概ね85%程度であった。 概ね高い評価であったが、更に子どもにとって「解りやすい授業」を目指し、創意工夫を図った授業改善を行っていくことが要求されているところである。</p>
中学校	<p>質問事項としては、 ①基礎的学力の定着 ②わかる授業の展開 ③学習意欲を高める個々の生徒に応じた指導 ④学習習慣の定着 などがある。 評価の結果は全学校の平均が75%程度となっている。 中学生の保護者にとって学習指導に関しては非常に関心が高いところであり、期待も含めた厳しい評価となっていることが予想されるが、「学力向上」の期待に応えるための努力を怠ることの無いように実践していくことが必要である。</p>



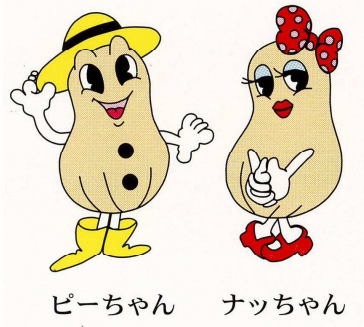
③ 家庭・学校・地域が連携して子どもを育てる環境に関する項目

幼稚園	<p>共通した質問事項として、 <地域の方々との協力や信頼関係ができていると思われますか> の質問に対して、プラス評価は、昨年度を上回る高い評価で、平均で98%となっている。 今後も引き続き、地域の方の協力を得ながら円滑な園の運営を行っていただきたい。</p>
小学校	<p>質問事項としては、 ①担任と家庭の連絡体制 ②地域の学習や協力連携体制 ③学校・学年・保健だよりの工夫 などがあつた。 結果は、平均で87%であり全体的に良好な評価であつた。各学校の努力が見受けられ、家庭、地域連携の浸透はしていると思われるが、引き続き地域との連携を図りながら、円滑な学校運営に努めていただきたい。</p>
中学校	<p>質問事項としては、 ①授業参観や行事等の情報提供 ②地域行事やボランティアへの参加、地域の方々との連携 などがある。 評価の結果はプラス評価が平均で77%で、低い数値がある。授業参観に対する保護者の関心・意識が薄いようであり、連携体制に疑問の残る結果ともなっている。地域の信頼関係を保持する中で、社会全体で子どもを育てていくという体制の中心となる場は学校であり、一層の積極的な情報発信と共に、協力を求める場が必要と思われる。</p>





八街市のイメージキャラクター



ピーちゃん

ナツちゃん